

文部科学省平成30年度委託研究報告書

広域通信制高等学校における教育の質の確保のための研究開発事業

広域通信制高等学校の教員に対する 研修の在り方に関する調査研究

平成31年3月

全国高等学校通信制教育研究会

はじめに

昨今、広域通信制高校における不適切な指導は、文部科学省の取り組みの中で、大きな改善が進んでいると思われる。その改革の中で、必要とされる自校の正常化を果たそうとする学校が決して少ない数ではないことがそのことを証明している。

このような通信制高校改革の進展の中で、通信制高校の一層の充実を図り、校内における研修を一つの武器として通信制高校の改善充実を図るという立場から、私たち全国高等学校通信制教育研究会（以下、全通研）は、組織の中に「教員研修開発委員会」を立ち上げ、この一年、取り組んできた。

私たちが、招きに応じて研修の場に参加できた高校の数は7校、団体として「これからの高等学校通信制の在り方を考える勉強会」がある。学校規模や地域も異なる高校または団体と、教育研修の場を得たことは、通信制高校の一層の発展を願う我々全通研にとっても極めて有意義な機会であった。

研修課題としては、「ガイドライン」の解説や通信教育規定の解釈等もあったが、主に以下のような自校の教育課題についてであった。

- ・教育課程の編成実施に関する質疑応答
- ・生徒保護者に対する対応
- ・生徒指導の在りよう
- ・不登校の生徒に対する学習継続へ向けた対応
- ・発達障害を持つ生徒への指導の在り方等

これらの研修内容からもわかるように、日常の校務運営や生徒指導等に関連する質疑応答が多くを占めた。公立高校であれば、都道府県教育委員会の高校教育指導担当とコンタクトをとる中で、疑問が氷解できるが、日常的に誰かに聞く、誰かが質問に答えることができる組織体制作りが急務であり、第三者的な組織としての研修センター機能を果たす組織が必要ともいえよう。

同時に、私たちは、全通研設立以来 70 周年を迎え、これまでに通信制高校における教育研修、教員研修につながる広範囲な教育研究をしてきた。そこで、全国の通信制高校に係る、校務運営、教科指導、生活指導、進路指導、教育相談等について、多様かつ豊富な研修主題を提供することにした。

私たち全通研の全国大会、7つの地区通研大会に係るレポートの10年分をデータベース化し、これを全通研ホームページに掲載して、自校の教育課題解決のために縦横無尽に活用する道を開いた。既に、データベース化作業が終了し、全通研ホームページで公開している。

各高校に提供できるレポート数は、全通研全国大会発表レポート 125 本、地区通研大会発表レポート 361 本、合計 486 本である。通信制高校における教育課題、教育実践、新指導要領対応等、多様な視点からの教育研究及び教育実践の集大成ともいえる。

これらの取り組みをもとに、次年度の研究開発事業においては、このデータベースを活用しつつ、各校のあらゆる教育課題に対応できる校内研修が実現できるよう、本研究会コーディネーターを介して、進めていきたい。広報の取り組みも含め、内容の充実とともに、本年度の校数を倍加して展開できるよう、研修開発を広範囲に進めていきたい。

I 全通研教員研修開発委員会記録

	会 議	内 容	研 修 等
第 1 回	7月19日 (木)	<p>1. 教員研修開発委員会の組織編制・研究開発の目的</p> <p>2. 広域通信制高等学校における教員研修をどのように展開させるか</p> <p>(1) 全通研、地区通研への積極的な加盟や各研修大会への一般参加を通じた研修意欲の醸成</p> <p>(2) これまでの全国大会、地区通研大会を通じた膨大な量の研修レポートを活用したデータベース化に基づいた校内研修の活発化、活性化</p> <p>(3) データベース化を通じた、テーマに即した研修会講師の派遣、校内研修の活性化</p> <p>(4) 学校ごとの適時的な教育的課題に向けた講師、レポートの提供</p> <p>3. 「まなびリンク」「日々響学園高校」の訪問予定</p>	<p>・第70回全通研愛媛大会に一般参加として、非加盟校より7校8名が参加</p> <p>・7月30日(月)、「まなびリンク」に賀澤会長・村越事務局が訪問し、全通研非加盟校の研修会開催の協力要請</p> <p>・7月31日(火)全通研非加盟の「日々輝学園高校」(栃木)に賀澤会長・川平委員が訪問 研修会開催の協力要請</p>
第 2 回	8月30日 (木)	<p>1. 「まなびリンク」「日々輝学園高校(栃木)」訪問の報告 7月30日(月)、賀澤・村越が「まなびリンク」の山口教雄氏を訪問し、広域通信制高校の教員研修実施に向け、協力を要請した。</p> <p>2. 国際学院高校(埼玉)の校内研修会への講師の派遣について 国際学院高校通信制課程は来年度より登校コースの導入を予定している。導入に向けての研修会へ賀澤会長を講師として派遣する。</p> <p>3. これまでの全国大会、地区通研大会における研修レポートのデータ化について</p> <p>(1) 8月13日(月)、星槎大学大学院石原朗子准教授が来所し、研修レポートのデータ化について、アドバイスをいただいた。グーグル検索エンジンをHP上に載せて活用すれば、費用負担はない。</p> <p>(2) NHK学園高校の森山了一先生よりアドバイスをいただいた。全通研HP上にデータを保存する方法もある。契約を変えて保存データ容量を増やすことも考えられる。現在のドメイン管理</p>	<p>・9月1日(土)、星槎大学大学院教育実践研究科・石原朗子准教授が委員に就任した。</p> <p>・9月18日(火)、国際学院高校(埼玉)の校内研修会へ賀澤会長が講師として出席した。 「登校コースのあり方及び通信制教育に関する諸問題」について</p>

		<p>料は、月額 3,024 円（税込み）</p> <p>(3)データの保存・活用方法については、石原先生・森山先生から、さらにアドバイスをもらって検討することとする。</p> <p>(4) 研修レポートのデータ化 は、評価委員会の川口俊彦委員と石原先生にお願いする。具体的なデータの内容については「年度・地区等のわかる発表番号」「発表のテーマ・タイトル」「発表校」「発表者」「数行の発表概要」を作成する。検索データとしては、「年度・地区等のわかる発表番号」「発表のテーマ・タイトル」「数行の発表概要」とする。利用者は検索した後に、発表資料が必要な場合は、全通研事務局に問い合わせる。</p> <p>(5) 新たに、有識者として星槎大学大学院石原朗子准教授に委員の就任をお願いする。</p> <p>8月31日（金）委員の就任の承諾を得た。</p>	
第3回	10月11日（木）	<p>1. 「国際学院高校」（埼玉）校内研修会への講師の派遣報告</p> <p>9月18日（火）14：00～16：30</p> <p>来年度より導入予定の登校コースに関する研修に講師として出席した賀澤会長より報告があった。「参加者は、校長・副校長・教頭と教員、11名であった。NHK学園高校が登校コースを導入した際の資料を提供し、コース制の考え方について、アドバイスをした。その他、特別な支援を要する生徒の指導、進路指導、生徒指導、生徒募集等の様々な質問があった。教員はまじめで、施設も整っているが、通信制教育について、どう取り組んでいけばよいか、教員がわからないようで、教員研修の意義は大きいと感じた。」</p> <p>2. 全国大会、地区通研大会における研修レポートのデータ化について</p> <p>9月25日（火）、星槎大学大学院石原朗子准教授、川口俊彦氏、賀澤会長と打合せを行った。過去10年間の全国大会のデータを12月末までに、石原・川口両先生で分担して作成していただくことになった。完成次第、地区通研大会のデータ化を行っていく。</p>	<p>・10月22日（月）、「校内研修の講師派遣・学校見学等の案内」を全通研加盟校120校、非加盟通信制高校118校に郵送した。</p>

		<p>3. 全通研ホームページのリニューアル ホームページのリニューアルについて、事務局より報告があった。データを掲載しやすくするために、年度内にホームページをリニューアルする予定である。プロジェクトチームを設置して検討する。全通研放送教育研究委員会のメンバーに、募集をかけている。</p> <p>4. 今後の活動について 日本ウェルネス高校に賀澤会長が行く予定である。その他については未定である。(日本ウェルネス高校の研修は実現できなかった)</p>	
第4回	10月31日(水)	<p>1. 研修案内の送付報告 全通研加盟校 120 校、加盟していない通信制高校 118 校に、10 月 22 日(月)に発送した。その後、前橋清陵高校、鹿島学園高校(茨城)より問合せがあった。 ・狭域高校でもよいか、教員の参加人数、研修場所に縛りはあるか。 全通研愛媛大会に一般参加をした広島工業校に電話したところ、現在教員に研修会の実施について投げかけているが、来年度になりそうである。</p> <p>2. 広島県通信制高校の合同研修への講師派遣 10 月 31 日(水)に広島県の通信制高校が実施する研修に全通研常務理事の神奈川県立横浜修悠館高校の原口瑞校長が講師として出席する。「通信制教育あり方研究委員会」が全通研愛媛大会で発表した内容を講演する。 また、1月に並木学院高校(広島)の校内研修に賀澤会長が出席する予定である。</p> <p>3. 全通研ホームページのリニューアル 10 月 24 日(水)、事務局において全通研HPリニューアルのプロジェクト会議を開催した。メンバーは、平田裕・森山了一(NHK学園高校)、上杉寛(宇都宮高校)、松本一則(学悠館高校)の4名、作成は、業者に頼まず、委員で行う。 全通研大会・地区通研大会研究発表データ(過去10年間)の検索ができるようにする。</p>	<p>・10月31日(水)広島県の通信制高校が実施する研修に神奈川県立横浜修悠館高校の原口瑞校長が講師として出席した。 「通信制発足70年 課題の変遷と今日的課題」について</p>

		<p>4. 文科省からの要望</p> <p>菅谷専門官より電話があり、実地調査をした広域通信制高校より、添削指導をどのようにしたらよいか、例を示してほしいとの要望があり、全通研に実践例があるかとの問い合わせであった。現在、全通研「通信制教育あり方研究委員会」で、添削指導例の提供を加盟校に依頼している。締め切りは12月末。それを示すことはできる。</p>	
第5回	11月28日 (水)	<p>1. 校内研修派遣報告</p> <p>11月19日(月)鹿島学園高校の研修に賀澤会長が講師として出席した。法令及び様々な通信制高校の教育課題・取組(単位認定・履修問題等)について質疑応答があった。参加者は真摯に通信制高校の教育改善を考えているもの、一部では法令に反しているのではないかと思われる事例もあった。</p> <p>鹿島学園高校の秋葉原学習センター 13:30~15:30</p> <p>2. これからの予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月11日(火)八洲学園大学国際高等学校(沖縄)の東海大付属望星高校訪問 「進路指導・生徒指導等における取組についての研修と施設見学」、および「教育システム」の理解 ・12月18日(火)村上学園高校(香川)の研修会に賀澤会長が講師として出席 <p>3. 広島県通信制高校の合同研修への講師派遣</p> <p>10月31日(水)に広島県の通信制高校が実施する研修に横浜修悠館高校の原口瑞校長が講師として出席する。全通研「通信制教育あり方研究委員会」が全通研愛媛大会で発表した内容の講演。</p> <p>4. 過去10年間の全通研大会の発表レポートのタイトル・要旨を全通研非加盟校に送付する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・11月19日(月)鹿島学園高校の研修に賀澤会長が講師として出席した。 「指導要録や表簿等の取扱い、海外の高等学校から帰国子女を受け入れる際の単位認定、メディアの視聴報告による面接指導の減免基準等の諸問題」について ・11月30日(金)全通研理事会でこれまでの取組みを報告。各地区通研に対し、地区通研大会への一般参加を認めるよう協力を要請した。 ・12月7日(金)「全通研研修会発表データ(過去5年間)及び「校内研修の講師派遣・学校見学等の案内」を全通研加盟校120校、非加盟通信制高校118校に郵送した。 ・12月11日(火)非加盟校の八洲学園大学国際高等学校(沖縄)の校長・教頭が東海大付属望星高校を訪問した。 「進路指導・生徒指導等における取組み」「学校施設見学、および教育システムの理解」 ・12月18日(火)村上学園高校(香川)の研修会に賀澤会長が講師として出席した。

<p>第 6 回</p>	<p>1月24日 (木)</p>	<p>1. 校内研修派遣報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月17日(木)「これからの高等学校通信制の在り方を考える勉強会」の研修に賀澤会長が講師として出席した。「学びリンクからの7名の職員も含め30数名が参加した。通信制教育に真摯に取り組み、新しい発想の良さを打ち出そうとしているが、議論の場や問題点を指摘する場がない。全通研への加盟を促した。 御茶ノ水 14:00～16:00 ・12月18日(火)村上学園高校(香川)の研修会に賀澤会長が講師として出席した。村上校長は評価研究会のメンバーでもある。 予備校が新たに通信制高校を開校した。校長はまじめに取り組もうとしているが、教員の経験はなく、いくつかの問題があった。 <p>2. 学校訪問報告</p> <p>12月11日(火)10時～12時、八洲学園国際高校校長・教頭が東海大学付属望星高校を訪問し、八洲学園国際高校より、学校訪問報告書が事務局に提出された。「通信制高校における生徒指導ならびに進路指導の充実のため」という目的で、有意義な訪問であったと記されている。東海大学付属望星高校も有意義な意見交換ができたと言っている。</p> <p>3. 非加盟校への情報提供</p> <p>12月7日(金)「全通研研修会発表データの送付及び校内研修の講師派遣・学校見学等のご案内」を郵送した。また、八洲学園国際高校に、事務局よりメールにてレポート添削の校内研修の協力を申し出たが、現在のところ返信はない。</p> <p>4. これからの予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月30日(水)滋慶学園高校(岡山・30年4月開校)の校内研修に小宮山英明委員が講師として出席する。滋慶学園高校は31年度に中国地区通研・全通研への加盟を希望している。 「不登校生徒の指導等について」「レポート添削指導例の提供」 ・3月4日(月)並木学院高校(広島)の校内研修に賀澤会長が講師として出 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月17日(木)「これからの高等学校通信制の在り方を考える勉強会」の研修に賀澤会長が講師として出席 ・1月25日(金)31年度全通研研修会の一次案内を、全通研加盟校・非加盟校に送付した。 「著作権の改正と通信制高校におけるICTの活用について」 ・岐阜教育大学大学院生の依頼により、過去の全通研大会の「保健体育」についての発表資料を提供した。 愛媛大会(30年) 福島大会(25年) 佐賀大会(24年) 兵庫大会(14年) <ul style="list-style-type: none"> ・1月30日(水)滋慶学園高校(岡山・30年4月開校)の校内研修に小宮山英明委員が講師として出席した。 「特別な配慮が必要な生徒の指導」について また、全通研加盟校の「レポート添削事例集」を提供した。
----------------------	----------------------	--	---

		<p>席する。</p> <p>5. 全通研ホームページの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月21日(月) ビジネスプランに契約更新 ・2月1日(金) 研修データのホームページへのアップを実施予定 <p>2月中に新ホームページにリニューアルし、完成後に加盟校に報告する。</p> <p>6. 文部科学省への報告について</p> <p>3月14日までに成果報告書を20部、電子媒体1部を提出する。</p> <p>7. 教育再生実行会議第十一次提言中間報告について</p> <p>賀澤会長より中間報告概要について説明があった。WGで発表した内容が中間報告に取り入れられている。</p> <p>8. 31年度の研修について</p> <p>現在の予定は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月初旬～中旬に徳島中央高校がレポート添削指導についての研修を実施する。教員の異動が多いことから、4月中にレポート添削の研修を行いたいとのこと、広島県東高校が講師となることが決定している。 ・全通研研修会を実施する。 <p>「著作権の改正と通信制高校におけるICTの活用について」(資料1)</p> <p>12月12日(金) 東京開催 ハリウッド美容専門学校</p> <p>12月16日(木) 大阪開催 大阪私学会館</p> <p>一次案内を今月中に、加盟校にはメールで、非加盟校には郵便で送る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・31年度全通研長崎大会の一般参加の案内を非加盟校には、4月初めに、郵送付する。 ・地区通研への一般参加の案内については、今後地区通研と協議して対応する。地区通研の一般参加についての反対は特にない。 	
第7回	2月26日(火)	<p>1. 滋慶学園高校校内研修報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小宮山英明委員より、研修報告があった。 <p>「学校設定の研修会の初回であり、「通信制について」通信教育の制度や学習指導、生活指導上の留意点などの通信制ならではの特異点の情報を共有することを目的として開催された。80</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2月27日(水)、全通研ホームページをリニューアルし、全通研大会・地区通研大会の発表レポートデータをアップした。 <p>(資料)</p> <p>翌28日(木)に加盟校にリニューアルの通知を送</p>

		<p>分ほどの講演の後に、質疑があり、全通研声明や文科省のガイドラインに沿った形での通信教育の実践となるようにアドバイスをした。」</p> <p>また、滋慶学園高校より、研修に参加した教員の感想が事務局に寄せられた。大変勉強になったとの感想が多く、中には「学校での問題は学校で解決すべきだと勝手に思い込んでいましたが、問題が複雑化している分、専門家や行政など、様々な人・外部の組織の力を借りることの必要性がわかり良かったです。」「他校がどのようにレポート等の指導ができていのか知れてよかったです。」という感想もあった。</p> <p>・3月4日(月)並木学院高校校内研修に賀澤会長が出席(予定)</p> <p>2. 30年度「全通研教職員研修開発委員会」の総括と31年度の活動について</p>	<p>付した。非加盟校には、4月初めの「全通研長崎大会」の案内とともに送付する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月4日(月)並木学院高校の校内研修に賀澤会長が講師として出席した。 ・3月14日(木)、文科省に報告書を提出、通信制高校には、4月初めに報告書を送付する。
--	--	--	--

II 全通研「教員研修開発委員会」による「訪問研修」の実施状況

- 1 私立国際学院高等学校(埼玉県)の校内研修会に参加
 - ① 派遣講師 賀澤恵二(全通研会長・NHK学園高校統括校長)
 - ② 参加教職員 約10名
 - ③ 主題:「登校コースの在り方及び通信制教育の諸問題」
 - ・通信制における登校型の通信制をどう考えるか。それを実現する教育制度の確立のために何が必要なのか。
 - ・その中で、教育課程の編成・実施についての質疑応答が時間をかけて行われた。
 - ・若い先生方が、真摯に学ぼうとする姿勢に終始され、講師の立場で、のめりこむような教育姿勢に感動をした。
 - ・教科指導そのものだけでなく、学校現場における高校教育全体に関わっての質疑応答が印象的であった。
 - ・生徒指導に関わって日常的な対応の質問もあったが、すでに解決策を持たれており、教員集団として機能していることを評価したい。

- 2 広島県高等学校教育研究会通信制部会研究大会に参加
 - ① 派遣講師 原口 瑞(全通研常務理事・神奈川県立横浜修悠館高校長)
 - ② 参加教職員 約30名
 - ③ 主題:「通信制発足70年 課題の変遷と今日的対策」
 - ・広島県内の公立高校3校、私立高校2校の教員が参加し、講演及び質疑応答を行った。
 - ・講演内容、資料は、30年度全通研愛媛大会「学校運営分科会」で、全通研の「高等学校通信制教育あり方研究委員会」が発表したものである。通信制教育70年の歩みを振り返るとともに、今日的な課題として「非活動生徒対応」「教員研修」「深い学びの実践」「防災対策」を挙げ、アンケート調査結果をもとに提言をして

いる。この分科会は管理職が参加するため、多くの教員は初めて聴く内容であった。

- ・大会後のアンケート調査では、「通信制に勤務しているということへの誇りを新たに、さらに前向きな気持ちになった」「外国籍の生徒（日本語の学習が必要な生徒）に対する取組は、大変参考になりました」「初発の理念が確認できた。外国につながる生徒について、神奈川の先進事例をすることができた」「熱意とパワーが伝わり、元気が出ました。生徒のために熱い心でクールに業務を推進していけそうです」といった声が寄せられた。

3 私立鹿島学園高校の都内の各室長主体の研修に参加

- ① 派遣講師 賀澤恵二（全通研会長・NHK学園高校統括校長）
- ② 参加教職員 約 15 名
- ③ 主題：「通信制高校における教育課題全般について」
 - ・指導要録や表簿等の取扱いについて一電子化の扱い等
 - ・海外の高校から転入する生徒の履修科目等の設定及び単位認定について一教科・科目の読み替えの考え方等
 - ・メディア視聴報告による面接指導の減免基準について一メディア視聴に係る年間指導計画の必要性について、一部公立高校の例も紹介
 - ・室長の集まりでもあり、質問応答は、的確に理解いただいた。通信制の多様性に係る質問も、すでに自己の解答を持っており、その確認のための研修と感じた。
 - ・てきぱきとした応答に終始し、先生方の実務に対する姿勢は評価してよい。

4 「これからの高等学校通信制の在り方を考える勉強会」21校の研修会に参加

- ① 遣講師 賀澤恵二（全通研会長・NHK学園高校統括校長）
- ② 参加教職員 約 40 名
- ③ 主題：「通信制高校における教育課題全般について」
 - ・ガイドライン、教育再生実行会議の中間まとめ等を中心に報告、質疑応答。
 - ・理事長・校長先生の会合でもあり、通信制高校の特色化、教育内容の一層の充実等のやり取りを行った。連携施設の在り方、活用の仕方等の質問もあり、真摯な立場からガイドライン等の求める基準についてやり取りをした。
 - ・教育課程や、ダブルスクール等についても真剣に意見交換ができ、参加者の姿勢が感じ取れた。

5 岡山県 滋慶学園高校（岡山）の校内研修に参加

- ① 派遣講師 小宮山英明（教員研修開発委員・元全通研常務理事・元全国定通高等学校長会理事長）
- ② 参加教職員 管理職 2 名 教員 8 名 カウンセラー 1 名
- ③ 主題「特別な配慮が必要な生徒の指導について」
 - ・滋慶学園高校は 30 年 4 月に開校した広域通信制高校で、31 年度に中国地区通研・全通研に加盟することを希望している。
 - ・ほとんどの教員は通信制教育に携わるのは初めてであり、特別な配慮が必要な生徒の指導をはじめ、様々な生徒への適切な指導のあり方を模索し、真摯に取り組んでいる。
 - ・学校設定の研修会の初回であり、「通信制について」通信教育の制度や学習指導、生活指導上の留意点などの通信制ならではの特異点の情報を共有することを目的として開催された。
 - ・80 分ほどの講演の後に、質疑があり、全通研声明や文科省のガイドラインに沿った形での通信教育の実践となるようにアドバイスをした。また、熊本県立湧心館高

校のレポート課題添削例集を提供した。

- ・研修に参加した教員の感想には、大変勉強になったとの感想が多く、中には「学校での問題は学校で解決すべきだと勝手に思い込んでいましたが、問題が複雑化している分、専門家や行政など、様々な人・外部の組織の力を借りることの必要性がわかり良かったです。」「他校がどのようにレポート等の指導ができているのか知れてよかったです。」という感想もあった。

6 並木学園高校（広島）の校内研修に参加

- ① 派遣講師 賀澤恵二（全通研会長・NHK学園高校統括校長）
- ② 参加教職員 約 30 名
- ③ 主題「通信制高校に関する現状と課題」
 - ・校長先生の通信制教育にかける姿勢に共感し、研修会に参加させていただいた。
 - ・若い先生方が多い中、若い教頭先生が懸命に取り組んでいるその姿勢に心を打たれた。また、先生方もおそらく平均年齢が若く、ベテランの先生の関わりの中で教員としての姿勢を見ることができた。
 - ・ガイドライン等の説明にも、厳格な基準を話させていただいたが、逆に共感をいただくことが多く、通信性の改革の流れを十分に理解いただいた思いである。

Ⅲ 学校訪問・見学による研修の実施状況

1 八洲学園大学国際高校（沖縄）

- ① 八洲学園大学国際高校による東海大学附属望星高校の学校訪問・見学
- ② 訪問者 八洲学園大学国際高校の校長・教頭 2名
応接者 東海大学附属望星高校 校長・校長代理・教頭・教務主任・進路指導主任
- ③ 訪問目的 「通信制高等学校における生徒指導ならびに進路指導の充実のため」
 - ・東海大学附属望星高校の概要説明の後、学校施設・設備見学、担当者による進路指導、生徒指導の説明と質疑応答が行われた。
 - ・進路指導：「東海大学進学を中心とした通信制高校の中でも高い進学率の維持、「東京わかものハローワーク」との連携、3年生でのインターン体験から就職に繋げる活動、クラブ活動における高大連携と研究成果の学術発表、等についての説明
 - ・生徒指導：入学時の面接での「生活上の留意事項」の説明と案内を行う取組み、等についての説明
 - ・学校施設、設備見学：「高校通信教育講座」についての専門の技術スタッフと高度な収録編集設備による質の高い独自番組制作、生物地学分野実験室・物理化学分野実験室など充実した特別教室設備
 - ・訪問した八洲学園大学国際高校、学校訪問を受け入れた東海大学附属望星高校の両校方から、通信制教育についての貴重な意見交換を行うことができたとのコメントをいただいた。

Ⅳ 全通研大会・地区通研大会に蓄積された教育研究情報のデータベース化と利用促進

1 取り組みの概要

全通研では例年、全国と7つの地区において大会を開催し、会員校の実践例・研究開発の取り組みの発表を通じて通信制教育全体の改善、および各会員校の実践の改善を目指した情報交換を行ってきた。また、それらの大会では集録が刊行され、冊子媒体として情報が保存されていた。しかし、従来、これらの知見は大会参加者以外にはあまり共有される機会がなく、十分な活用がなされなかった。

一方で、このような教育課題への実践例や研究開発の知見は、歴史を持つ会員各校による貴重な教育資産である。そして、これらの知見は会員校を超えて共有されることで、通信制教育での教育課題への学校を超えた解決にもつながる貴重な資料であると考えた。そこで、本事業では、これらの記録をデータベース化し、ホームページ上で検索可能な形で公開することで、それにより通信制高校の各学校が必要に応じて求めるテーマでの情報を得らえる仕組みを作り、会員校を超えて通信制教育の発展のために活用できるようにすることを目指した。

以上の経緯から、以下の3つの内容を行った。

- ① 全通研全国大会の過去10年間に関するデータベース化
- ② 地区通研大会の過去10年間に関するデータベース化
- ③ それらから検索により必要なテーマを抽出できるホームページの改善

以下、各内容について報告を行う。

① 全通研大会の過去10年間に関するデータベース化

全通研大会は1950年から実施され、平成30年度で第70回を迎えている。このうち、本年度事業においては、各校が現在の教育課題の改善に役立たせやすいであろう直近の10年分についてデータベース化を行った。

データベースとしては、各発表のテーマ、タイトル、内容要約、参考情報（学校の簡単な情報）をまとめている。これらのデータは100を超えるものであり、学校運営（各学校の現状と課題、改善方策を含む）、放送教育（メディア利用を含む）、各科目の教科指導、人権教育・教育相談などのテーマが含まれる。各学校は、これらの情報から必要な資料を請求することや情報照会を図ることもでき、また自校に必要なテーマの再認識を助けることにつながる。このデータベースを通じて、問い合わせのある高校への教育研修も検討している。

② 地区通研大会の過去10年間に関するデータベース化

全通研では現在、地区が7つ（東北・北海道、関東、中部、近畿、中国、四国、九州）に分かれており、各地区でも独自の活動を行っている。その1つが地区通研大会の開催であり、例年、全国大会の開催地以外の6地区で行われている。これらの地区通研大会についても、現在の教育課題の改善に役立たせやすいであろう直近の10年分についてデータベース化を行った。

データベースとしては、全国同様に、各発表のテーマ、タイトル、内容要約、参考情報（学校の簡単な情報）をまとめている。これらのデータは全国と合わせて486を数える。テーマは全国大会に類似したもの他、生徒指導や進路指導などにも重点が置かれている。各学校は、これらの情報から必要な資料を請求することや情報照会を図ることもでき、近隣校の取り組みを知ることできる。このデータベースを通じて、地区の会員校か否かを超えた交流、情報交換が広がる一助なることも狙いとしている。

③ 必要なテーマを抽出できるホームページの改善

以上のデータベースの整備の成果をより利用しやすくするために、当組織のホームページの改訂を行った。これにより、各データベースに関わったキーワード検索が可能になったほか、地区ごとでの交流を促進するための運用の自由度も向上した。

以上の取り組みを通じて、全国の通信制教育の教育改善の基礎となる情報提供と、情報活用促進を行ったのが、本年度のデータベース化に関わる活動である。高等学校通信制教育に携わる多くの学校、そして先生方に活用していただくことを期待したい。

V 次年度に向けた取り組み

- 1 校内研修実施校の一層の推進のために
 - ・公立私立を問わず校内研修を全国的に多様に展開するために、全通研の組織力を活用し、地区ごとに校内研修の派遣、実施ができる組織体制の整備
 - ・校内研修の充実へ向け、設置団体にとらわれない研修会の実現。設置者に関わらない高校教育の在り方を学ぼうとする高校に、講師を派遣する。
- 2 校内研修に派遣する全通研からの講師については、あらゆる教育分野に対応するため、派遣講師を登録制とし、多様な教育課題ごとに多様に派遣できるよう、教育課題別講師名簿を作成する。当然ながら、講師は、全通研関係者にとどまらない。
- 3 このことを受けて、通信制高校に係る多様な研究団体等と連携し、多様な講師派遣のスタイルを確立していく。
- 4 先達が残してくれた長年にわたる研修レポートをデータベース化したことに伴い、コーディネーター的な機能を前面に出し、研修センター機能を発揮できるよう組織体制を整備していく。
- 5 データベースは、可能な限り学校教育関係者や研究者に公開し、その活用の多様化を図る。このことは、通信制高校に対する認知度を向上させ、教育機関としての充実・発展に結びつけることができる。

全通研教員研修開発委員会委員

役 割	氏 名	所 属
会 長	賀澤 恵二	全国高等学校通信制教育研究会会長 NHK学園高等学校統括校長
副会長	山口 正樹	全国高等学校通信制教育研究会常務理事・事業部長 神奈川県立厚木清南高等学校長
副会長	永井 成昌	全国高等学校通信制教育研究会常務理事 東海大学付属望星高等学校長
副会長 校内研修コーディネーター	川平 悦郎	全国高等学校通信制教育研究会元常務理事・庶務部長 学芸館高等学校長
委 員 データベース化担当・会計監査	小宮山英明	早稲田大学教育・総合学術院教育支援センター教育支援員 全国高等学校通信制教育研究会元常務理事
委 員 (30年9月1日より) データベース化担当	石原 朗子	星槎大学大学院教育実践研究科准教授 日本通信教育学会監事
委 員 経費等会計担当	村越 和弘	全国高等学校通信制教育研究会事務局長

なお、全通研大会・地区通研大会発表資料のデータベース化に当たっては、元青森県立北斗高校長で通信制高等学校評価研究会運営委員の川口敏彦氏にご協力いただいた。また、全通研ホームページへの公開に際しては、NHK学園高校の平田裕・森山了一、栃木県立学悠館高校の松本一則、栃木県立宇都宮高校の上杉寛の各先生方にご協力いただいた。

資料

《 全通研大会・地区通研大会発表データ一覧 》

年 度	データ数		計
	全通研大会	地区通研大会	
21年度	13	41	54
22年度	12	32	44
23年度	12	38	50
24年度	11	35	46
25年度	13	35	48
26年度	12	33	45
27年度	14	35	49
28年度	12	37	49
29年度	14	37	51
30年度	12	38	50
合 計	125	361	486

全通研大会の記録 H21～H25

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H21	1	全通研全国大会 (滋賀大会)	学校運営	通信制教育実態調査結果について	平成10年度から20年度の10年間で通信制高校を取り巻く学習環境や変化について、アンケートにより収集した各調査項目を分析している。主な項目は①開かれた学校の取組②インターネットと学校③教育相談における工夫など。	神奈川県立厚木清南高校 群馬県立太田フレックス高校
H21	2	全通研全国大会 (滋賀大会)	学校運営	通信制独立校3年間の歩み	新設の通信制高校としての開設にあたり、入学機会の拡充やスクーリングの工夫、学期ごとの単位認定、学習チューター、学習の支援等の取組についての発表。	千葉県立千葉大宮高校
H21	3	全通研全国大会 (滋賀大会)	教科指導(数学)	本校数学レポートの現状と課題	数学に対する意識調査から、生徒の実態に応じた方針を決め、レポート作成をを実施後の分析により生徒がより取り組みやすいレポートへの工夫をした実践研究。	今治精華高校
H21	4	全通研全国大会 (滋賀大会)	教科指導(数学)	本校数学科教育の現状と課題	生徒の実態と学期毎の単位認定等や定時制との教室の配分等の現状から修得率向上のための方策と課題について。	三重県立北星高校
H21	5	全通研全国大会 (滋賀大会)	教科指導(保健体育)	集団行動な不得意な生徒への体育スクーリング	体育スクーリングの主な内容と取り組み、インターネットコンテンツ「eラーニング」の導入等の実践報告。	駿台甲府高校
H21	6	全通研全国大会 (滋賀大会)	教科指導(保健体育)	本校における体育指導とこれからの課題	生徒の実態や体力の現状から、それに応じた授業の取り組みと意識調査の実施。	星槎国際高校 星槎国際高校
H21	7	全通研全国大会 (滋賀大会)	教科指導(英語)	本校における英語指導の現状と課題	英語の開講科目とそれぞれの取り組みや課題をもとに、英語科全体の授業内容と生徒への評価方法を分析している。	福岡県立博多青松高校
H21	8	全通研全国大会 (滋賀大会)	教科指導(英語)	本校英語指導の現状と課題	英語Iに対する意識調査をもとに、授業改善や個別指導など、生徒の基礎力定着へ向けた取り組みについて。	広島県立西高校
H21	9	全通研全国大会 (滋賀大会)	放送教育	インターネットを使った「NHK高校講座」の活用方法について	平成19年から20年に実施したインターネット学習の取り組みと課題をもとに、生徒の学習環境、修得率向上の工夫をした実践研究。	京都美山高校 京都美山高校

H21	10	全通研全国大会 (滋賀大会)	放送教育	本校における放送視聴の現状と利用促進のための研究	放送視聴の利用実態と生徒の意識調査から、放送視聴利用者と単位修得率の比較。	新潟県立新潟翠江高校
H21	11	全通研全国大会 (滋賀大会)	放送教育	放送視聴におけるネット利用について	レポートにおける生徒へのアンケートをもとに、インターネット学習の実態を明らかにした実践研究。	日本放送協会学園高校
H21	12	全通研全国大会 (滋賀大会)	人権教育	楽しくなければ学校じゃない —あの子もこの子も笑顔で—	在学する生徒の実態に応じたカウンセリングや指導法を定め、生徒ひとりひとりが有意義な学校生活を送れるような学習内容や工夫など。	秋桜高校 秋桜高校
H21	13	全通研全国大会 (滋賀大会)	人権教育	反社会的行為により逮捕された生徒に対する適切な指導をするための生徒指導内規(懲戒規定)の検討	反社会的行為に及んだ生徒に対する特別指導の課題解決にあたり、生徒指導内規の実態、懲戒の効果と内容等を、全通研加盟高校へのアンケート調査をもとに明らかにしている。	北海道有明高校
H22	1	全通研全国大会 (岡山大会)	学校運営	通信制高等学校における生徒指導措置および支援教育等現代的課題に関する調査について	平成21年度に実施した通信制実態調査により明らかとなった課題の解決策として、全通研加盟校103校を対象にアンケートによる詳細の調査を実施。その分析結果を報告している。	神奈川県立横浜修悠館高校 栃木県立宇都宮高校
H22	2	全通研全国大会 (岡山大会)	学校運営	飛騨高山高等学校通信制の取り組みと課題—小規模な通信制の特性を生かした指導実践—	地域性の強い小規模な通信制であることを活かした教育の取り組み。生徒の実態から特色のあるスクーリング、生徒指導の工夫など。	岐阜県立飛騨高山高校
H22	3	全通研全国大会 (岡山大会)	教科指導(国語)	通信制課程における「国語表現-書く力の獲得と可能性-」	新たな試みとして、「国表だより」の発行、フラッシュカードの使用、「自己評価」用紙の使用(授業の振り返り)、質問をメールで受付を行い、生徒の学習に与える効果を推察した実践例。	沖縄県立泊高校
H22	4	全通研全国大会 (岡山大会)	教科指導(国語)	本校の国語教育の取り組みについて	特色のある国語教育の実践と、生徒の意識調査をもとに「国語力」の方向性と向上のための課題を挙げている。	天王寺学館高校
H22	5	全通研全国大会 (岡山大会)	教科指導(地歴・公民)	二期学制の導入に伴う教育課程の検討と面接指導の工夫	二期制を導入したことによる社会科の課題とその対策。実際に使用しているテキストを交えながら、各教科の取り組みと修得率向上の方策をまとめている。	長野県松本筑摩高校
H22	6	全通研全国大会 (岡山大会)	教科指導(地歴・公民)	生徒の学習状況分析と本校の地理教育について	生徒の単位修得率向上を目指した具体的な方策と、生徒の学習に対する意識調査の報告。	埼玉県立大宮中央高校 埼玉県立大宮中央高校

H22	7	全通研全国大会 (岡山大会)	教科指導 (理科)	新科目「科学と人間生活」実施の可能性を 探る —新教育課程編成に向けて—	新科目の特徴と実施の可能性に言及、実際の授 業を想定し作成したレポートを添付している。	宮城県仙台第一高校
H22	8	全通研全国大会 (岡山大会)	教科指導 (理科)	理科離れ、理科嫌いの現状と課題について —関心を持たすための対策—	生徒の意識調査をもとに授業内容の改善と関心 を引くための方策について。	高知県立大方高校
H22	9	全通研全国大会 (岡山大会)	放送教育	本校における放送教育の推進と課題につい て	これまでの放送教育研究の取り組みから、視聴 覚教材のニーズや教材を扱う上での課題につい て。	広島県立東高校 広島県立東高校
H22	10	全通研全国大会 (岡山大会)	放送教育	通信制教育における放送視聴へのポータル 機能充実に関する研究	視聴覚教材を通して、学習に対する意欲向上を 目的とした実践研究。	静岡県立静岡中央高校
H22	11	全通研全国大会 (岡山大会)	人権教育	本校における人権教育・教育相談について —「いのち (生命)、じゅう (自由)、 びょうどう (平等)、きょうせい (共 生)」の視点に立った学校をめざして—	人権教育における創意工夫と生徒の人権に寄り 添った指導の徹底について。実践を踏まえた上 での今後の課題をまとめている。	山口県立山口高校
H22	12	全通研全国大会 (岡山大会)	教育相談	本校における教育相談の取り組み	これまでの人権教育の取り組みと工夫、教職員 を対象としたインシデント・プロセス法の実施 報告と課題について。	新潟県立高田南城高校
H23	1	全通研全国大会 (高知大会)	学校運営	「全国高等学校通信制教育研究会 (全通 研) 編集学習書の「新編集・執筆方針」に ついて	全通研編集学習書の新編集版作成にあたって、 既存内容の構成や学習書の性質についてまと め、報告している。	日本放送協会学園高校 埼玉県立大宮中央高校
H23	2	全通研全国大会 (高知大会)	学校運営	①本校の教育課程の特色について ②新教育課程への移行について	①は所属校の特色について多様なデータを提示 するほか、アンケートによる学校生活における 生徒の意識調査。 ②では①で述べた所属校の特色を生かし、新カ リキュラムの移行計画について報告している。	大阪府立桃谷高校 大阪府立桃谷高校
H23	3	全通研全国大会 (高知大会)	教科指導 (数学)	「基礎学力の土台を大切に数学指導」 ～基礎学力チェックとフォローの充実～	所属校での数学指導における取り組みと、生徒 の学力定着に向けた課題の工夫について。	クラーク記念国際高校 クラーク記念国際高校
H23	4	全通研全国大会 (高知大会)	教科指導 (数学)	本校における数学科の取り組みについて ～単位修得率を高めるために～	生徒の学習内容定着率を目的とした指導内容の 工夫と、指導後の生徒に向けたアンケート調査 による実践報告。	鳥取県立鳥取緑風高校
H23	5	全通研全国大会 (高知大会)	教科指導 (英語)	添削の実際	英語に苦手意識を持つ生徒への添削時の留意点 やその概要を、実際添削した課題等を挙げるな どした実践報告。	愛知県立刈谷東高校 愛知県立刈谷東高校

H23	6	全通研全国大会 (高知大会)	教科指導 (英語)	本校英語科指導の現状と課題	各科目における生徒の学習状況と課題、今後の方策について。	兵庫県立青雲高校
H23	7	全通研全国大会 (高知大会)	教科指導 (家庭)	新学習指導要項に伴う本校の取り組み	学習要領改訂にあたって指導意識の改善と、所属校における取り組みについて。	日本航空高校
H23	8	全通研全国大会 (高知大会)	教科指導 (家庭)	家庭総合におけるホームプロジェクトの指導の研究	ホームプロジェクトの実施にあたり取り組んだ実践や実態の調査などをまとめた実践研究。	宮崎県立宮崎東高校
H23	9	全通研全国大会 (高知大会)	放送教育	本校における放送利用の促進 ～「視聴票作成の手引き」の作成と実践を通じて～	視聴覚教材の活用と生徒の単位修得率向上に向けた指導内容の工夫、今後の課題について。	高知県立高知北高校
H23	10	全通研全国大会 (高知大会)	放送教育	本校における放送教材等の活用について	放送教材による学習の現状と生徒の意識調査に基づいた視聴覚教材の活用法と今後の方策について。	長尾谷高校
H23	11	全通研全国大会 (高知大会)	放送教育	数学 I 履修者の放送視聴を利用した問題解決について	放送視聴における生徒の学習意欲の向上と、今後の活用方法について。	日本放送協会学園高校 日本放送協会学園高校
H23	12	全通研全国大会 (高知大会)	教育相談	教育相談における個人情報の保護と共有 ～アンケート調査をもとに～	アンケート調査をもとにした通信制高校の「教育相談における個人情報の保護と共有のあり方」の確立についての課題と今後の方策について。	福島県立道守高校
H23	13	全通研全国大会 (高知大会)	人権教育	本校における人権教育・教育相談の取り組みについて ～新しい自分探しにチャレンジ～	人権教育における教職員の取り組みと特色のある諸活動について報告している。	徳島県立徳島中央高校
H24	1	全通研全国大会 (佐賀大会)	学校運営	通信制に学ぶ生徒の現状と通信制高校教育の今後のあり方について～全通研アンケート調査から～	約11年前の生徒と現在の生徒の意識調査を比較して、生徒自体の質、学校生活における取り組みへの意識変化などを報告している。	埼玉県立大宮中央高校 神奈川県立横浜修悠館高校
H24	2	全通研全国大会 (佐賀大会)	学校運営	通信制教育の一層の充実を目指して	現在取り組んでいる指導内容の特色と、通信制教育の充実を目的とした課題、方策について。	岡山県美作高校
H24	3	全通研全国大会 (佐賀大会)	教科指導 (国語)	週4日通学コースにおける国語総合の指導について	生徒の実態をもとに改善した授業内容の詳細と、その研究結果を報告している。	科学技術学園高校
H24	4	全通研全国大会 (佐賀大会)	教科指導 (国語)	本校の国語教育の取り組みと課題	国語学習への意識調査をもとに授業内容の充実を図った実践研究。	未来高校 未来高校

H24	5	全通研全国大会 (佐賀大会)	教科指導 (地歴・公民)	教科指導 (現代社会) によるキャリア形成支援の可能性について	現代社会の学習を通じた生徒のキャリア支援の実態と、就労についての意識調査の分析。	広島県立西高校
H24	6	全通研全国大会 (佐賀大会)	教科指導 (地歴・公民)	教科としての単位修得向上～多様な生徒への対応の試み～	在籍する多様な生徒に対して個々に合わせた支援方法の研究、それに基づいた単位修得率向上の方策について。	奈良県立大和中央高校
H24	7	全通研全国大会 (佐賀大会)	教科指導 (情報)	本校情報化システムについて	情報化システムを利用した実例をもとに、現在抱える問題や今後の方策について。	福島県立郡山萌世高校
H24	8	全通研全国大会 (佐賀大会)	教科指導 (情報)	本校における「情報C」の授業実践～情報モラルをいかに育てるか～	今後インターネット社会を生きる生徒の情報モラルの定着へ向けた指導の実践研究。	富山県立雄峰高校
H24	9	全通研全国大会 (佐賀大会)	放送教育	放送視聴の積極的利用の試み～スクーリングに来られない生徒を対象に～	放送教材の積極的な活用による単位修得率向上を目的とした実践研究。	熊本県立湧心館高校
H24	10	全通研全国大会 (佐賀大会)	放送教育	放送教育は一人学習を補完するか	放送教育での学習を通して、自発的な学習を促すことを目的とした実践研究を、学習後の生徒への意識調査と併せながら報告している。	鳥取県立米子白鳳高校
H24	11	全通研全国大会 (佐賀大会)	人権教育	陵雲高等学校における人権・エレベーター委員会の活動について	人権・エレベーター委員の活動、校内外の機関との連携等といった取り組みについてまとめている。	和歌山県立陵雲高校 和歌山県立陵雲高校
H24	12	全通研全国大会 (佐賀大会)	人権教育	本校における進路保障の取り組みについて	人権教育における特色ある取り組みや、生徒と関わる際の留意点、基本方針について報告している。	福智高校
H25	1	全通研全国大会 (福島大会)	学校運営	通信高校におけるキャリア教育のあり方	各校におけるキャリア支援の実態や取り組みをアンケート調査から分析し、課題や今後の方策について報告している。	千葉県立千葉大宮高校 東京都立砂川高校
H25	2	全通研全国大会 (福島大会)	学校運営	本校の現状と課題について	後期入学制度の導入による生徒への影響とメリットの分析、また単位修得率向上のための実践研究。	愛媛県立松山東高校
H25	3	全通研全国大会 (福島大会)	教科指導 (数学)	「データ分析」の授業が生徒の自己効力感に与える効果	「データ分析」授業が生徒の学習意欲向上と自己肯定に繋がると推測した授業実践例の報告。	長野県長野西高校
H25	4	全通研全国大会 (福島大会)	教科指導 (数学)	通信制2年目教員実践報告	生徒の単位修得率向上を目的とした数学指導における工夫と実践研究。	福岡県立博多青松高校

H25	5	全通研全国大会 (福島大会)	教科指導 (理科)	「安心感」が持てる通信制の授業をめざして～特別な配慮が必要な生徒に対する支援を意識して～	特別な支援を要する生徒が在籍する実態に合わせた指導の工夫や留意点と実際の板書写真等を紹介した授業実践例。	島根県立宍道高校
H25	6	全通研全国大会 (福島大会)	教科指導 (理科)	興味をもてる理科教育について	単位修得率向上を目的とした理科指導における工夫と実践研究。	高知県立高知北高校
H25	7	全通研全国大会 (福島大会)	教科指導 (保健体育)	体育指導の現状と課題解決に向けて	体育指導の現状と問題点を提示し、生徒の単位修得率向上に向けた指導の改善とその結果報告。	京都府立西舞鶴高校 京都府立西舞鶴高校
H25	8	全通研全国大会 (福島大会)	教科指導 (保健体育)	体づくりの運動としての「気功」～「今日は軽く」の授業～	通信制高校における体育のあり方を見直し、授業に気功を取り入れることで、多様な問題を抱える生徒の自信と活力の向上を促している授業実践例。	神奈川県立厚木清南高校
H25	9	全通研全国大会 (福島大会)	放送教育	放送視聴の利用を目指したデジタルコンテンツの作成と活用について	デジタルコンテンツを作成することで、放送視聴教材の利用促進を目的とした実践研究。	北海道有明高校
H25	10	全通研全国大会 (福島大会)	放送教育	本校における効果的な放送利用の促進について	生徒の放送視聴教育による自学自習を目指した研究報告と、アンケート調査をもとに今後の方策を分析している。	今治精華高校
H25	11	全通研全国大会 (福島大会)	放送教育	「国語表現Ⅰ」におけるNHK一般放送番組の活用とその可能性	放送視聴教育における「国語表現Ⅰ」の指導の工夫とその取り組みについて。	日本放送協会学園高校 日本放送協会学園高校
H25	12	全通研全国大会 (福島大会)	人権教育	社会人として生きていける生徒の育成	生徒の低年齢化、コミュニケーション能力の低下に伴い、社会の一員として必要な能力を養う教育を目指した工夫とその取り組みについて。	青森県立北斗高校
H25	13	全通研全国大会 (福島大会)	教育相談	山口高等学校における教育相談	所属校の特色ある取り組みと教育相談における今後の課題と方策について。	山口県立山口高校

全通研大会の記録 H26～H30

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H26	1	全通研全国大会 (東京大会)	学校運営	本校の今後のあり方の模索	通信制高校を取り巻く変化を踏まえ、県内唯一の公立通信制高校として生徒の中の活動生数、卒業生数なども検討、基礎学力調査の結果も踏まえ、学校として行っている「安心して学べる学校づくり」などの取り組みを紹介している。	佐賀県立佐賀北高校
H26	2	全通研全国大会 (東京大会)	学校運営	特別な教育的支援を必要とする生徒に関する調査結果について	通信制では、特別な教育的支援を必要とする生徒が全日制に比べて多く、高校段階での支援も重要となっている。その中で全通研加盟校に対してアンケートを実施し、支援が必要な生徒の実態や取組、課題を集約、分析、実践例を紹介。	埼玉県立大宮中央高校 群馬県立太田フレックス高校 東京都立新宿山吹高校 神奈川県立厚木清南高校
H26	3	全通研全国大会 (東京大会)	教科教育（英語）	本校の英語科指導の現状と課題	普通科中心の通信制高校として、英語の基礎学力指導や、レポートでの音読課題の紹介と、英語科の各科目での単位修得率の状況から見える課題の紹介を行っている。基礎力診断テストや学修報告書などの事例も紹介。	山形県立霞城学園高校
H26	4	全通研全国大会 (東京大会)	教科教育（英語）	本校の英語教育における現状と課題	三修制、2学期制の通信制高校での英語科の開講科目とその構成、実践。昨年度の取り組みとして、チューターやチーム・テーティング、ピア・サポート、特別な教育的ニーズを抱えた生徒の具体的指導例などや、授業調査の分析結果を紹介。	和歌山県立紀の川高校
H26	5	全通研全国大会 (東京大会)	教科指導（家庭）	本校における家庭科の取り組みについて	生徒に寄り添った心の支援を重視する通信制高校での家庭科実践。単位取得率とその分析、レポートやスクーリング（講義・実習）の現状と課題を示し、生徒へのアンケートからの改善方策も提案。	高知県立高知北高校
H26	6	全通研全国大会 (東京大会)	教科指導（家庭）	通信教育における家庭科の実習の取り入れ方について～新学習指導要領に向けて～	新学習指導要領でレポート作成や論述などの知識・技術の活用の重視が進むだろうことなどの複数の変化を挙げ、その変化に合わせ、実習を含む指導内容でどのような工夫をしているかを示し、生徒の感想から授業後の分析も行っている。	長崎県立佐世保中央高校

H26	7	全通研全国大会 (東京大会)	教科指導 (地歴・公民)	生徒の履修・学習指導の状況と書く科目の取り組み	全日制に付設の県内唯一の公立通信制高校で地歴・公民は8科目開設。科目別の登録状況を紹介します、事例として世界史B・地理B・日本史Bの目標、レポート、スクーリング、実践を通じた教員から見た課題を挙げている。	石川県立金沢和泉丘高校
H26	8	全通研全国大会 (東京大会)	教科指導 (地歴・公民)	新聞記事に興味・関心をもたせる試みと工夫～スクーリングで新聞記事に親しみを持たせる「きっかけ」づくり～	自校について半数が転入生と多く、スクーリング・レポートは厳しいが、生徒の学習意欲は高いことを挙げ、そうした生徒に時事問題に関して新聞を通じて学ぶきっかけを与え、自ら動くように促す取り組みを行った紹介をしている。	鳥取県立鳥取緑風高校
H26	9	全通研全国大会 (東京大会)	放送教育	通信制高校における学習環境づくり～放送教育を触媒に～	誰でもできる実践を目指し、NHK高校講座の活用により生徒の学習環境を充実させる方法を探った実践。生徒のNHK高校講座への感想を踏まえ、レポートやスクーリング、学習支援活動にNHK高校講座を活用した経過と成果を報告。	千葉県立千葉大宮高校
H26	10	全通研全国大会 (東京大会)	放送教育	放送視聴の積極活用に向けた取組	視聴票によりスクーリングの代替として放送視聴を活用している中で、単位修得に繋がる積極的な放送視聴の活用の実践結果。視聴票の書き方講座の実践やスクーリング・レポートへの導入の取り組みを紹介している。	大分県立爽風館高校
H26	11	全通研全国大会 (東京大会)	人権教育・教育相談	通信制高校におけるキャリア教育の実践事例	高校教育を広く提供する位置づけから、つながりを意識したコンセプトへの変化を体験した通信制高校。「学び」、「人」、「世の中」とのつながりを重視した教育活動を紹介します、成果としての進路決定の上昇も示している。	東京都立砂川高校
H26	12	全通研全国大会 (東京大会)	人権教育・教育相談	本校の人権同和教育の取り組みと課題	対人関係などで課題もある生徒も多い中で、他者理解などによりよい人間関係を作る姿勢、人権感覚を養うことを目指した実践。LHRでの「人権便り」活用や、障害体験の実践を紹介し、実践での課題も考察している。	未来高校
H27	1	全通研全国大会 (石川大会)	学校運営	岩手県立杜陵高等学校の学校運営について	単位制の定通を置く公立高校での通信制課程の沿革、学校運営、経営方針、生徒の現況(生徒数推移、生徒の居住地、年齢等)、入学・卒業・学習指導・特別な支援等の学校運営における工夫を紹介している。	岩手県立杜陵高等学校 奥州校
H27	2	全通研全国大会 (石川大会)	学校運営	杜陵高校宮古分室の取り組みと課題	公立通信制高校の地域の分室における受講生徒の現況と学校の取り組みの紹介。生活体験発表会の取り組みや、支援を必要とする生徒への健康相談・カウンセリング、防災への取り組みを紹介し、進路達成率の向上の成果を述べている。	岩手県立杜陵高等学校 宮古分室

H27	3	全通研全国大会 (石川大会)	学校運営	「学校運営と学校行事」 学校運営に係る全通研アンケート調査から	全国の通信制高校が地域の特性と生徒の現状に合わせてどんな取り組みをしているかの95校の調査結果。スライドで詳細結果を紹介。仕事を持つ生徒の学習権、不登校経験者等も安心できる場づくりなど複数の提言が行われている。	神奈川県立横浜修悠館高校 千葉県立千葉大宮高校 栃木県立宇都宮高校 茨城県立水戸南高校 東京都立一橋高校
H27	4	全通研全国大会 (石川大会)	教科教育(情報)	本校の情報科の現状	単位制で週2・4登校などのコースを持つ通信制高校での実践。「生きる力」と問題解決能力の育成を目標とした情報科教育での使用教材や、PC、レポート、試験、評価の現状と、生徒の情報に関する能力や意識を紹介している。	私立 開志学園高校
H27	5	全通研全国大会 (石川大会)	教科教育(情報)	「情報」の授業の取り組みと情報機器に関する調査	多様なニーズに柔軟な対応を目指す単位制通信制高校での情報科教育としてのWORD中心の「情報演習」と、生徒の友人とのコミュニケーションツールでもある携帯電話・パソコンの使用状況や生活委への影響調査の結果の紹介。	岡山理科大学付属高校
H27	6	全通研全国大会 (石川大会)	教科教育(保健体育)	生徒指導と保健体育	生徒の睡眠・休養の取り方について、広域通信制高校の22校舎を含む24の中高での2000名強の調査結果。睡眠が6時間未満の生徒が半数という結果、十分な睡眠が習慣化されない理由の考察、当該校での生活習慣に関する指導を紹介。	星槎国際高校
H27	7	全通研全国大会 (石川大会)	教科教育(保健体育)	「通信制課程における保健体育のとりくみについて」～体づくり・体力の向上を目指して～	通信制高校としての保健体育の点で、レポート、疾病と抱えた生徒などが多いこと、それらの生徒への健康支援を課題として提示。その課題の対策としての「健康な体づくり」のためのスクーリング等の改善について報告をしている。	沖縄県立泊高校
H27	8	全通研全国大会 (石川大会)	教科教育(国語)	本校国語科教育の現状と課題	国語科の中で、文章を書く、作者の思いをくみ取るの両面から自己表現力を養うこと、地域の文化を学ぶことを目指している。その検証としてスクーリング前後でアンケートを行い成果と課題を紹介した。	今治精華高校 通信制課程
H27	9	全通研全国大会 (石川大会)	教科指導(国語)	「いろはかるた」を作る	「行学一致」を教育理念に、全定通を持つ高校での通信制課程の国語科の実践。活字離れが進む中で、生徒自身が「いろはかるた」をすることで文章化に慣れることを狙った実践で、その過程や、そこでの教員側の気づきも紹介している。	綾羽高校

H27	10	全通研全国大会 (石川大会)	放送教育	本校における放送教育・視聴覚教育の取り組み～NHK高校講座の利用推進を中心に～	生徒への調査から、放送視聴を利用しやすい環境づくり、NHK高校講座の利用促進、遠隔地の生徒へのよりよい学習環境づくりという課題を抽出し、その改善方策としてホームページ活用やGoogle+を利用した取り組みの紹介。	秋田県立秋田明德館高校
H27	11	全通研全国大会 (石川大会)	放送教育	放送教育の充実	県内定員内不合格後の通信制への入学者や再チャレンジの多い通信制として、定期テスト合格率の低下が問題となっており、個別指導だけでも限界があった中で、各教科で放送教育を活用した事例の紹介。	岐阜県立飛騨高山高校
H27	12	全通研全国大会 (石川大会)	放送教育	放送視聴を利用した「反転学習」の試行	アウトプット型学習に効果があるが事前学習の動画が負担でもある反転学習にNHK高校講座を利用した事例。書道で、放送視聴の後、グループワークを行った実践と、効果に関するアンケート結果を示した。	NHK学園高校
H27	13	全通研全国大会 (石川大会)	人権教育・教育相談	松坂高等学校通信制における教育相談	劣等意識や疎外感を持つ生徒や特別な教育的支援が必要な生徒が少なくない中で、教育相談の内容として、事例検討を含めた校内研修、スクールカウンセラーによる教育相談、校内だよりについてを紹介。特に事例検討会を詳しく紹介。	三重県立松坂高等学校
H27	14	全通研全国大会 (石川大会)	人権教育・教育相談	生徒と向き合う人権教育を目指して	生徒と向き合う人権教育の実践として、人権同和教育としてのLHRや校内通信、教育相談・特別支援教育での体制や支援の仕方、保護者や生徒の関わる施設との連携、総合的な学習におけるレポートについて紹介をしている。	鹿児島県立開陽高校
H28	1	全通研全国大会 (和歌山大会)	学校運営	本校通信制の現状と課題	准看護学科と技能連携も行う公立の独立併設校の紹介。不登校経験者数や年齢分布等の生徒の特徴、単位修得率等を示し、生じる課題としての単位修得率向上の取り組み、教育課程の見直し、平日の学習活動の取組みなどを紹介。	山梨県立中央高校
H28	2	全通研全国大会 (和歌山大会)	学校運営	課程間併修制度の現状と未来を考える～全日制・定時制・通信制、各課程生徒への支援策として～	定通併修などの課程間併修・連携について、歴史・法的根拠・スタイルと、全92校へのアンケートの結果を紹介。回答校の3分の2が実施する定通併修の意義と課題の結果を提示、不登校支援のための単位認定などでの連携も紹介している。	千葉県立千葉大宮高校 栃木県立宇都宮高校 東京都立一橋高校 神奈川県立厚木清南高校
H28	3	全通研全国大会 (和歌山大会)	教科教育（地歴・公民）	本校通信制地理歴史科・公民科教育の現状	定時制と通信制を持つ4年制中心の公立高校での生徒状況や開講科目設定、スクーリングと放送視聴による面接授業減免の状況、地理歴史科・公民科での授業事例の紹介。特に放送教育の活用を中心に紹介されている。	福井県立道守高校

H28	4	全通研全国大会 (和歌山大会)	教科教育(地歴・公民)	本校地歴・公民科の現状と課題ー通信制での効果的な科目指導ー	公立高校での地歴・公民科の実践報告。日曜のみの面接指導という制約や、学力・意欲でも多様な状況の生徒がいる状況を踏まえて視聴覚教材と「他者と関わる活動」の併用で効果をあげたこと、科目指導に加えた学校行事の効果を紹介。	香川県立高松高校
H28	5	全通研全国大会 (和歌山大会)	教科指導(数学)	数値計算力の現状について	定期試験の一部として実施した計算力調査とそこからの課題・対策の紹介。学習内容の理解では式変形などの理解の不足が妨げになるため、指導の中で分数や平方根を取り上げる機会を増やすことが大切であり、レポート添削で重視すべき。	福島県立郡山萌世高校
H28	6	全通研全国大会 (和歌山大会)	教科指導(数学)	本校数学科の取組み	必修科目数学I受講生徒の単位修得率について。単位修得率は公立高校の平均程度だが、9月までに単位認定の条件不足になる生徒が多い。対策としてガイダンスの役割のプリントを配布、インターネットを利用した時間割等の確認の仕組みを作った。	埼玉県立大宮中央高校
H28	7	全通研全国大会 (和歌山大会)	教科指導(理科)	本校の授業作り「科学と人間生活」	面接指導の中で生徒の理科に対する興味・関心を高め、報告課題(レポート)への意欲を高めるために行った演示実験の記録。年度末アンケートからの興味が得られた事項などについても紹介。	広島県立東高校
H28	8	全通研全国大会 (和歌山大会)	教科指導(理科)	理科における電子黒板の活用について	電子黒板の活用により生徒の理科への興味・関心・理解を高めることを目指した実践の紹介。電子黒板を使った授業例と、実践の長所・短所を示し、黒板と電子黒板の併用の有効性や、通信制での思考・判断力の養成の重要性を提言。	佐賀県立佐賀北高校
H28	9	全通研全国大会 (和歌山大会)	放送教育	放送視聴教育の『よこ』と『たて』の連携に向けた取り組み～教科と中高の連携による教育効果の向上を目指して～	学内サイトにNHK高校講座のリンクを貼り視聴をしやすい実践、NHK高校講座をレポートと連動させる工夫など「よこ」の連携と、中高(「たて」)の連携のため中学校へのNHK高校講座(ベーシック)を伝えた実践を紹介。	新潟県立新潟翠江高校
H28	10	全通研全国大会 (和歌山大会)	放送教育	放送視聴の活用と放送視聴学習の可能性	放送視聴の活用として、NHK高校講座(ラジオ番組)の視覚化のため、ラジオと連動した教材を作成した取り組み、それらの教材に対応できない生徒への自身を付けるための教材である番組作成の実践の紹介。	八洲学園高校

H28	11	全通研全国大会 (和歌山大会)	人権教育・教育相談 (教育相談)	本校における教育相談の取り組み～一人ひとりの生徒に寄り添って～	主に発達障がいやそれが疑われる生徒への支援の取り組みとして、スクーリング・レポート・掲示物等でのユニバーサルデザインの視点の導入や、交流のための「自由ノート」、教職員を中心としたチームでの援助、教職員間の連携などを紹介。	山形県立鶴岡南高校
H28	12	全通研全国大会 (和歌山大会)	人権教育・教育相談 (人権擁護)	スマホ・インターネットの利用による人権侵害	生徒へのスマホ・インターネット利用状況調査を行い、生徒が自身の個人情報の保護の意識が低いこと、インターネットの危険性の認識が十分とは言えないことを結果で提示。それを受けてのLHRで人権教育は実施について紹介。	兵庫県立網干高校
H29	1	全通研全国大会 (島根大会)	学校運営 (合理的配慮)	「特別な教育的支援を必要とする生徒の対応について」～通信制高校における実施状況と今後のあり方～	平成26年度に「特別な教育的支援を必要とする生徒の対応について」なされた5つ提言がある。それを受けて「特別な支援を必要とする生徒」への対応として「合理的配慮」の点から今後について模索した結果について。	神奈川県立横浜修悠館高校 埼玉県立大宮中央高校 群馬県立太田フレックス高校 茨城県立水戸南高校
H29	2	全通研全国大会 (島根大会)	学校運営 (生徒支援)	長野西高校取り組み課題～一人ひとりに寄り添う教育を目指して～	多様な生徒と向き合い支援するための取り組み (添削研修会、公開授業、司書ボランティアの活用、コンプライアンス研修会、託児室の整備など) と成果について。	長野県立長野西高等学校
H29	3	全通研全国大会 (島根大会)	教科教育 (国語)	本校の「国語表現」と「総合学習 (文学散歩)」の授業について～通信制における生徒自身の能動性を伴う学習として	通信制高校として英数国で必履科目「基礎」を設けている高校。「国語基礎」「総合学習 (文学散歩)」で書くことの喜びを伝え、地域の文学に触れさせる取り組みについて。添削の注意点や課題設定の視点を紹介。	滋賀県立大津清陵高校通信部
H29	4	全通研全国大会 (島根大会)	教科教育 (SSTの活用)	SST (ソーシャルスキルトレーニング) の手法を取り入れた国語教育の可能性	良好な人間関係と対人技能を学ぶSSTを強化に取り入れた活動について。「国語」の学びと「特別活動」にSSTを導入し、その授業で何が可能でどんな力がつくかを検討。特に「国語入門」やLHRでのSSTを知り取り入れた指導例を紹介。	宮崎県立延岡西朋高校
H29	5	全通研全国大会 (島根大会)	教科教育 (レポート)	本校の特徴的な活動と英語運用力をつけるためのレポート作成	学校の特徴的活動として仲間づくりや地域の関わり強化のための地区活動や文化祭での成果発表について。また英語科で基礎学力不足やレポートでの早期脱落がある中で、レポート・スクーリング・テストの取り組みと課題について。	長野県立松本筑摩高校
H29	6	全通研全国大会 (島根大会)	教科指導 (コミュニケーション英語)	東京都独自教材” Welcime to Tokyo”を活用した外国人指導員とのティーム・ティーチングによる面接指導	英語科「コミュニケーション英語Ⅰ」(4単位)で年間16時間のスクーリングに関して、ティーム・ティーチングを実施した事例紹介。指導の場面、教材の紹介を含めた活動の実際を紹介。次年度以降の学修継続についても触れている。	東京都立砂川高校

H29	7	全通研全国大会 (島根大会)	教科指導 (家庭)	本校における家庭科の新たな取り組み～学校間連携について～	県立高校における家庭科教育の実践。開設科目間の関係、目標、修了率、レポート指導の工夫を紹介。さらに昼間定時制との学校間連携による教育の結果や改良の状況、学校間連携による自己肯定感向上などの効果を述べている。	宮城県立美田園高校
H29	8	全通研全国大会 (島根大会)	教科指導 (家庭科)	本校の家庭科指導の現状と取り組みについて (平成25年度～ 学習指導要領に沿った)	県立高校での家庭科教育の実践。前提となる学校情報や生徒状況、面接指導、学校行事、開講科目を掲載。家庭科指導については、調理実習の実施や、スクーリングとレポートを関連させた指導、教材配布の工夫などに触れている。	香川県立丸亀高校
H29	9	全通研全国大会 (島根大会)	放送教育 (学習支援)	生徒の学修支援のための放送教育の活用	支援が必要な生徒の増加、通信制のシステムの壁となる生徒の増加を踏まえた実践の紹介。放送教育を生徒の学習支援の手段とし、自校HPやNHK高校講座の活用による実践をした結果と生徒からのアンケート結果を踏まえた改善を紹介。	岡山県立岡山操山高校
H29	10	全通研全国大会 (島根大会)	放送教育 (動画配信)	放送教育による個に応じた指導と探求的な学習の充実	週1回登校スタイルの学校。生徒の主体性・思考力・表現力の向上を図るため放送教育を活用した実践の紹介。個に応じた面接指導を目指して、数学Ⅰでの授業動画配信と、理科の実験動画による探求心向上を目指した取り組みを紹介。	岐阜県立華陽フロンティア高校
H29	11	全通研全国大会 (島根大会)	放送教育 (登校との連動)	放送による学習効果を目指して	放送教育中心の高校に開設された登校コースの1年間の成果の検討結果。登校日のサポートスクーリングでのNHK高校講座の活用や、放送内容とレポート・スクーリングを組み合わせたことの成果について紹介。	日本放送協会学園高校
H29	12	全通研全国大会 (島根大会)	人権教育・教育相談 (生徒支援)	多様な学習を支援する高等学校の推進事業 定時制・通信制課程における支援相談体制の構築～通信制高等学校における重層的な支援体制の構築をめざして～	全・定・通の3課程を持つフレキシブルスクールの学校の持つ生徒の多様性や校内的資源の課題、進路決定困難などの現状と課題を提示。学習支援の仕組み (UDの視点、学習支援員の活用) や相談支援体制 (SC、SSWの活用) を紹介。	神奈川県立厚木清南高校
H29	13	全通研全国大会 (島根大会)	人権教育・教育相談 (生徒支援)	文部科学省『多様な学習を支援する高等学校の推進事業』～外部機関とのネットワークづくりや重層的支援の充実を目指して～	公立の通信制単独校において困っていた多数の生徒に対して「個別支援から、わかりやすい高校生活へ」を目指して活動、「重層的支援」に至るまでの仕組みを紹介。平日登校のスクーリングを軸に卒業や進路実現までの過程を解説。	神奈川県立横浜修悠館高校
H29	14	全通研全国大会 (島根大会)	人権教育・教育相談 (生徒支援)	山口高校通信制における相談室を活用するために～キャッチカウンセリングを通して～	不登校生徒などが多い中で、敷居の高い相談室に加えてキャッチカウンセリングを実践した紹介。キャッチカウンセリングは悩みがありそうな生徒に声掛けしてカウンセリングに繋げることがだが相談室活用には教師側が動くことも重要。	山口県立山口高校通信制

H30	1	全通研全国大会 (愛媛大会)	学校運営	通信制発足70年 課題の変遷と今日的課題ー ＜非活動生徒対応＞＜教員研修＞＜主体的・ 対話的で深い学びの実践＞＜防災対策＞	全通研に設置した「通信制教育あり方研究会」 の検討報告。通信制教育における課題の歴史的 変遷を全通研大会第1分科会の発表議題のから精 査。表題に関わるテーマで通信制高校への全国 アンケートを実施し、95校分の結果を報告。	神奈川県立横浜修悠館高校 学校法人日出高等学校 神奈川県立横浜修悠館高校 埼玉県立大宮中央高校 茨城県立水戸南高校 栃木県立宇都宮高校 群馬県立太田フレックス高校
H30	2	全通研全国大会 (愛媛大会)	学校運営	新しい時代のニーズに対応する通信制高等学 校教育を目指して	私立広域通信制高校の事例。通信制高校に新しい ニーズがあることを指摘し、対応としてのサ ポート体制、学習スタイルの選択肢の提示、教 材の見直し、不登校生指導、職員の負担軽減の ための成績管理システム導入などを紹介してい る。	八洲学園高校
H30	3	全通研全国大会 (愛媛大会)	教科教育（地歴・公 民）	本校における地歴・公民科の取組	公立の通信制高校の事例。生徒の特徴、教育課 程、学習形態・学習状況を提示。他の生徒と学 べる機会としてスクーリングを捉え、地歴・公 民科での生徒間の対話を取り入れたスクーリ ング実践を複数、資料を交えて紹介している。	青森県立八戸中央高校
H30	4	全通研全国大会 (愛媛大会)	教科教育（地歴・公 民）	本校通信制課程における地理歴史科・公民科 教育の現状と課題	2つの協力校を持つ公立の通信制高校の事例。教 育や施設設備の特色、全体のカリキュラムの特 徴、キャリア教育・特別支援教育、スクーリ ング、学校行事の状況を紹介。地理歴史科教育 については授業アンケートの内容も紹介してい る。	島根県立浜田高校
H30	5	全通研全国大会 (愛媛大会)	教科教育（保健体 育）	本校の現状と課題	3つのキャンパスを持つ通信制高校。保健体育科 の教育の特徴や内容、教科の課題として体育の 単位だけで修得できないこと、生徒の実態把握 の困難さを挙げる。課題解決に向けたインター ネット講座や見学者対象スクーリングも紹介。	静岡県立静岡中央高校
H30	6	全通研全国大会 (愛媛大会)	教科教育（保健体 育）	通信制高等学校における保健	5つの校舎を持つ通信制高校の事例。通信制高校 の「保健」に関して面接指導とレポートだけに より内容が薄くなる恐れを指摘。また、近畿圏 での「保健」に関する記述式を含むアンケート 結果、授業資料を含む自校の教育内容を紹介。	長谷谷高校
H30	7	全通研全国大会 (愛媛大会)	教科教育（情報）	本校における選択科目IT（情報）の授業の現 状と課題	多様な選択科目を置く特徴がある通信制高校の 情報科選択科目の事例。習熟度別の基礎・応用 での内容、生徒のパソコン能力・情報モラル・ 意識の現状を紹介、発想力向上、協同的な活 動、向上心、チャレンジ精神の点での課題を提 示。	開志学園高校

H30	8	全通研全国大会 (愛媛大会)	教科教育(情報)	〔社会と情報〕におけるパソコン実習の内容を検証する	レポート学習での理論的内容に関して体験的に理解・興味を増す機会としてパソコン実習を実施している事例。授業の実施内容を紹介。授業の感想やアンケートの結果からは、実習が体験の域に留まり、改善が必要なことも指摘している。	長崎県立鳴滝高校
H30	9	全通研全国大会 (愛媛大会)	放送教育	未来高校における放送教育の取組	私立広域通信制高校で放送教育研究嘱託校での生徒の情報環境に関する調査、教員の放送教育に関するアンケート結果を踏まえ、NHK高校講座活用の進め方を検討した事例。指導案、教員の自評を含む授業実践記録や視聴票の事例を紹介。	未来高校
H30	10	全通研全国大会 (愛媛大会)	放送教育	生徒の学習支援を目指したNHK高校講座の活用	15歳から70代までが学ぶ公立通信制高校のNHK高校講座の活用方法に関する事例。生徒の実態調査、高校講座を勧める学校通信の紹介、講座利用を促すスマホサイトを紹介。視聴した生徒は好意的な評価だったことも指摘。	兵庫県立青雲高校
H30	11	全通研全国大会 (愛媛大会)	人権教育・教育相談	本校の教育相談の取組についてー現状と課題ー	定通一体運営が特徴の公立高校の事例。生徒や保護者の相談を保健室中心に受ける仕組みの紹介や、他機関や専門職と連携して支援した複数事例を紹介。心理療法に乘せるだけでは限界とも指摘。	三重県立北星高校
H30	12	全通研全国大会 (愛媛大会)	人権教育・教育相談	本校における教育相談の現状と課題	単位制普通科の私立広域通信制高校。学校生活上の工夫や生徒の基礎学力不足への対策、生徒の現状、教育相談・キャリア教育の詳細を紹介。教育相談では、仕組み、カウンセリング事例について、キャリア教育では体験授業を紹介。	高松中央高校

東北・北海道地区通研大会 H21～H25

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H21	1	東北・北海道地区通研大会	教育課程（学校運営）	本校の教育課程 ー前期・後期単位分割認定についてー	単位を半期認定してきた経緯と今後も継続すべきかを検討している事例研究。	青森県立北斗高校
H21	2	東北・北海道地区通研大会	教育課程（学校運営）	本校の特徴を生かした学習指導	教育課程の特徴や面接指導の工夫により単位修得の向上を目指した学習指導の実践例。	山形県立鶴岡南高校
H21	3	東北・北海道地区通研大会	教科指導（地歴・公民）	体験学習を中心とした社会科教育のあり方と指導上の工夫について	生徒の身近な教材を工夫しながらパワーポイント等を活用し、複数教員による指導で効果的な授業展開をした実践例。	星槎国際高校
H21	4	東北・北海道地区通研大会	教科指導（地歴・公民）	通信制における地歴・公民の効果的な指導	スクーリングが90分設定であることから、どのような学習形態であれば生徒への興味関心や学力の定着ができるかを工夫した授業実践例。	福島県立郡山萌世高校
H21	5	東北・北海道地区通研大会	教科指導（保健体育）	これからの通信制における体育実技のあり方 ～本校の取り組みについて～	1時間も休めない体育の授業で集中スクーリングやラジオ視聴などを活用し時数認定を行いながら障害がある生徒への対応や授業のルールを明確に示した授業実践例。	秋田県立秋田明徳館高校
H21	6	東北・北海道地区通研大会	教科指導（保健体育）	本校における保健体育の現状と課題	低学力や不登校、特別支援を必要とする生徒が多い中で、通信制の保健体育の授業の在り方について工夫改善を図った実践例。	宮城県仙台第一高校
H21	7	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	反社会的行為により逮捕された生徒に適切な指導を行うための内規（懲戒規定）の検討	反社会的行為に及んだ生徒に対する特別指導の課題解決にあたり、生徒指導内規の実態、懲戒の効果と内容等を、全通研加盟高校へのアンケート調査をもとに明らかにしている。	北海道有明高校
H21	8	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	「ジョブカフェ」との連携による生徒指導の試み	卒業はするが進路決定をしない生徒の実態からジョブカフェとの連携を図ることで、生徒の進路指導を行っている実践例。	一関学院高校
H21	9	東北・北海道地区通研大会	放送教育	放送視聴レポート作成への行動療法的介入	放送視聴レポート作成に当たり、行動カウンセリング技法を用いて生徒への動機づけ等に活用している実践例。	クラーク記念国際高校
H21	10	東北・北海道地区通研大会	放送教育	インターネット上の本校公式サイトにおける教科・科目の学習のページ作成と今後の課題	公式HPから学習支援サイトを立ち上げeラーニングを展開している実践例。	山形県立霞城学園高校
H22	1	東北・北海道地区通研大会	教育課程（学校運営）	新学習指導要領をふまえた教育課程の編成について	新教育課程を踏まえた教育課程編成の計画や運営、現行課程の問題点を新課程でいかに改善するか、その方策について。	北海道有明高校
H22	2	東北・北海道地区通研大会	教育課程（学校運営）	生徒の主体的学習に向けた『総合的な学習の時間』	所属校における総合的な学習の時間の工夫や、生徒の主体性を促進するための取り組みについて。	山形県立霞城学園高校

H22	3	東北・北海道地区通研大会	進路指導	自立支援を目指した進路指導へのアプローチ	不登校の要因を心の問題のみならず、進路の問題としても捉えていく見解が出された上で、高校在学中のキャリアガイダンスの重要性を報告している。	星槎国際高校
H22	4	東北・北海道地区通研大会	進路指導	本校における進路指導の現状と課題	所属校における進路指導の課題を挙げ、多様化する生徒へ対しての進路指導のアプローチ法を模索している。	福島県立郡山萌世高校
H22	5	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	不登校傾向が強い生徒に対しての生徒指導のあり方について	不登校傾向の生徒に対する指導の概要や改善に向けた工夫を述べた実践報告。	クラーク記念国際高校
H22	6	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	若年化と多様化が進む生徒の指導はどうあるべきか	特別活動の出席率向上促進のための工夫や、生徒の主体性のある取り組みへの課題、今後の方策について。	岩手県立杜陵高校
H22	7	東北・北海道地区通研大会	放送教育	eラーニングについて ～報告課題に役立つコンテンツの作成	レポート作成の手助けとして独自に作成したコンテンツの状況と課題についての研究。	北海道有朋高校
H23	1	東北・北海道地区通研大会	教育課程・学習指導（学校運営）	二期制に対応したスクーリング配当の工夫	二期制を導入した現状と見えてきた課題を述べ、教職員や生徒を対象にしたアンケート調査をもとに今後の方策について報告している。	岩手県立杜稜高校
H23	2	東北・北海道地区通研大会	教育課程・学習指導（学校運営）	一般生の卒業までの修得科目	基礎学力定着のための特色ある取り組み、単位修得率向上のための工夫などを報告している。	宮城県仙台第一高校
H23	3	東北・北海道地区通研大会	進路指導	本校における進路指導の現状と課題	生徒の多様化、若年化に伴い、明確な目的意識の保持を促す進路指導の取り組みについて。	秋田県立秋田明徳館高校
H23	4	東北・北海道地区通研大会	進路指導	本校における進路指導の現状と課題	生徒ひとりひとりが主体性を持って目標の進路を達成できるように指導内容の充実を図った実践報告。	山形県立鶴岡南高校
H23	5	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	基本的な生活習慣を確立するための取り組み	所属校の生徒の生活に関する実態と課題を述べ、実際の個別指導の内容と成果を報告している。	星槎国際高校
H23	6	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	若年化と多様化が進む生徒の指導はどうあるべきか	多様化する生徒の実態を踏まえ、文化祭や体験学習を通して生徒の自主性や協調性の育成を図る指導を展開している。	山形県立霞城学園高校
H23	7	東北・北海道地区通研大会	放送教育	放送視聴の利用を目指したデジタルコンテンツの作成と活用について	事業指定を受け、全校体制で11教科のコンテンツを作成中の中間報告。	北海道有朋高校

H24	1	東北・北海道通研大会	教育課程（学校運営）	共感理解教育	3つのコースを設定している中で、教育理念を 実践するための共感理解教育の現状と課題を把握しながら、全国一斉授業、国際交流、地域交流授業、防災カルタ作成等を実施指導した事例。	星槎国際高校
H24	2	東北・北海道通研大会	教育課程（学校運営）	生徒一人ひとりの学習を支援する工夫	日曜スクーリングのほか、平日の個人学習や夜間スクーリング、夜間学習も行い対面指導が力を入れている。また、特別な支援を必要とする生徒への対応や身近なところでユニバーサルデザイン化を実践している。	山形県立鶴岡南高校
H24	3	東北・北海道通研大会	進路指導	本校における進路指導の現状と課題	進路決定にあたり、保護者会や進路相談を行い生徒・保護者からの理解を得ながら、進路講話や平日勉強会、ワード・エクセル講習会等、進路指導の取り組みを紹介している。	青森県立北斗高校 尾上総合高校分室
H24	4	東北・北海道通研大会	進路指導	多様な生徒一人ひとりに合わせた進路指導を目指して	特別な支援を必要とする生徒に対して、個々の生徒への理解を深める情報交換会や学習会、個別の教育支援計画等を作成し、進路指導や教育活動を実践している事例。	岩手県立杜陵高校
H24	5	東北・北海道通研大会	生徒指導	通信制高校における生徒会活動の実践と役割	生徒会活動の中で、「ちょボラ（ちょっとしたボランティア）」を企画し活動させ、全校生徒への浸透図った。また、生徒からの企画書作成やマネジメントサイクルを進め、リーダーの育成に努めている実践例。	宮城県美田園高校
H24	6	東北・北海道通研大会	生徒指導	本校生徒指導の現状と課題	生徒に対して、学校生活、就業状況、生徒心身状況、進路希望等の各調査から実態を把握し、その課題から、基礎学力の定着、生徒同士の交流場、進路指導と連携した面談活動の促進等の対策を上げている研究。	秋田県立秋田明德館高校
H24	7	東北・北海道通研大会	放送教育	放送視聴の利用を目指したデジタルコンテンツの作成と活用について	NHK放送視聴番組のモニタリングとWEB上でのコンテンツ作成を行うという目的で、NHK高校講座の有効性や8科目のコンテンツ作成実施についての研究。	北海道有朋高校

東北・北海道地区通研大会の記録 H26～H30

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H26	1	東北・北海道地区通研大会	教育課程・学習指導	クラークの全日型教育～教育力NO. 1を目指して～	自校の実践について、約10年前は高卒資格を求める生徒が多く、卒業がゴールだったが、進路保証を含める声が高まり卒業後を見据えた教育に変わったことを指摘。その点う踏まえた教員間のルールや生徒指導、カリキュラム見直しについて言及。	クラーク記念国際高校札幌大通校・白石校
H26	2	東北・北海道地区通研大会	教育課程・学習指導	教育課程上の課題と対策～一般入学生の基礎学力不足への対応～	開講科目等の教育の概要と入学者の特徴を踏まえ、多様な生徒がいることによる課題や、一般生の2年目の学習中断の課題を指摘、理想の解決方法（学び直し科目の設定）と現実的な対策（個別指導や基礎基本の重視）を提言している。	宮城県美田園高校
H26	3	東北・北海道地区通研大会	教育課程・学習指導	学習を継続させるために～平成22年度入学生をとおして～	入学後4年がたった平成22年度生について、卒業者とそれ以外の傾向を比較分析し、学習継続や卒業に向けた手立てを検討。入学年度の学習継続が大切であることを指摘し、それを踏まえたレポート提出に関する改革と成果を報告している。	宮城県美田園高校
H26	4	東北・北海道地区通研大会	進路指導	本校における進路指導の現状と課題	全道に協力校を持つ通信制高校。新入学が5割、10・20代が中心の生徒の状況、卒業生の進路を紹介。さらに協力校との連携、協力校の就職・進学希望者のへの対応を紹介し、それを踏まえて生徒の進路意識の向上の必要性など進路指導上の課題を提示。	北海道有朋高校
H26	5	東北・北海道地区通研大会	進路指導	本校の進路指導の現状と課題	中学校からの直接進学が4割、不登校経験者が半数近くを占める中、基礎学力、コミュニケーション能力、社会関係能力育成を目標に対面指導を充実させる方針を取る。その中で特に進路指導（進学・就職、資格取得）の実践と課題を報告している。	青森県立北斗高校
H26	6	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	忍耐力の育成～本校生徒指導の現状と課題～	不登校経験の生徒が多く、学力だけでなく社会性の不足がある中で、経験・体験不足と自己肯定感不足に伴う忍耐力不足を課題に提示。その上で、生徒の主体的な活動の場である部活動や体験学習の紹介をしながら生徒指導の効果や成果を考察している。	星槎国際高校
H27	1	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	本校生徒指導の現状と課題	県内に5つの協力校を持つ通信制高校。在籍生徒数や生徒状況（受講生・休眠生）の状況を踏まえて、生徒指導の実際として、喫煙・試験不正・不正乗車・窃盗・暴力行為などの場面での指導の実際や、継続的な指導のための工夫について紹介している。	福島県立郡山萌世高校

H26	2	東北・北海道地区 通研大会	放送教育	本校における放送教育・視聴覚教育の取り組み	スクーリング重視で、単位修得率が8割の公立通信制高校での放送教育利用の事例。アンケート結果でNHK高校講座の認知度が低かったことを踏まえ、視聴環境の改善、講座利用の推進、遠隔地との双方向学習環境の導入について方策を検討、実践した。	秋田県立秋田明徳館高校
H27	3	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学習指導	本校の今度の在り方の模索～教務部の視点から。完全半期認定の制度に向かって！～	公立の通信制高校で、単位認定の仕組みを変化させる際の変化の報告。従来は通年で単位認定をしていたものがどのように半期での単位認定に変わったかについて、制度移行の状況や、制度改定の中で苦心した点などを紹介している。	青森県立北斗高等学校
H27	4	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学習指導	ユニバーサルデザインに配慮したレポート作成について	レポートについて、書きにくさや教科の整合性のなさなど発達障がいのある生徒にとって困難が多かった状況で、フォントをゴシックで一定のサイズ以上にし、サイズも統一させるなどの工夫を行った経過と、その結果見えた課題などを紹介。	岩手県立杜陵高等学校
H27	5	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	進路への取組について	私立広域通信制高校本校が進路指導としてどのような取り組みを年間で行ってきたか、それに対して生徒からどんな声が上がってきたかを紹介している。さらに今後進路として大学進学が増えることを予想し、そのための展望も紹介。	クラーク記念国際高等学校
H27	6	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	本校における進路指導の現状と課題	定通を持ち、普通科と技能連携を行う職業科を持つ公立高校の通信制の事例。生徒の中で配慮を要する生徒が一定いることを踏まえたキャリア教育のプログラム、学習支援、進路支援、関連する専門人材（SSW的人材等）の活用について紹介。	山形県立霞城学園高等学校
H27	7	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校における生徒指導の現状と課題	公立通信制高校としてのスクーリングを含む学習の仕組み、自己実現・自立心を重視した生徒心得と、いじめ防止などの関連実践を紹介。課題として卒業後に、社会の中で自立して生きていけるための力をいかにつけさせるかを挙げている。	青森県立八戸中央高等学校
H27	8	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校の生徒指導～生徒会活動を中心に～	普通科のみの公立通信制高校で、特徴として広範囲からの通学、生徒の若年化、生徒が学校に交流や友達作りの場の期待もしていることを指摘。生徒指導上では問題行動が減っていること一方、生徒交流の行事、特別活動の参加者減も指摘。	山形県立鶴岡南高等学校
H28	1	東北・北海道地区 通研大会	放送教育	本校における放送教育・視聴覚教育の取り組み～NHK高校講座の利用推進を中心に～	放送教育研究委嘱校の事例。放送視聴の視聴票の負担の軽減による放送視聴利用環境の改善、おすすめの設定によるNHK高校講座の推進の方策を紹介。成果について生徒の自主性に任せることの限界も指摘している。	秋田県立秋田明徳館高等学校

H28	2	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	本校の多様なニーズに対応した取り組み	生徒が多様化、ニーズも複雑化する中、生徒の変容に応じて3修制と4修制のダブルスタンダードの特色、働きながら学ぶこともセーフティネットの視点も重視するなど多様な役割を担うことを含む7つの柱を掲げ、学校全体と教務部での取り組みについてを紹介。	北海道有朋高校
H28	3	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	本校三年修了制課程の現状と課題	四修制を基本としつつ、三修制を取り入れる公立高校。平成9年より三修制も導入したが、生徒の居住地やスクーリング受講先で三修制の適用となりにくいことや、1年目のみが三修制選考対象でありチャンスが少ないことなどを課題として挙げている。	福島県立郡山萌世高校
H28	4	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	本校の進路指導の取り組みと今後の展望 ～3年間まるごと進路指導～	発達のアンバランスや不登校・引きこもり傾向、複雑な家庭環境を持つ生徒がいることを受け、進路指導を「社会人、職業人としての自覚と自立」と位置づけた実践。3年間かけた進路指導を行い、入学前、在学中、卒業後の進路指導の取り組みを紹介。	星槎国際高校
H28	5	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	本校の進路指導	進路指導で主体的な進路選択、保護者への情報提供、望ましい職業観・勤労観・人生観の育成を重点目標に掲げる。職を持たない生徒、学校に適應できない生徒が増える中で、自律を促すための進路講話や勉強会、パソコン講習会などの実践を紹介。	青森県立上尾総合高校
H28	6	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	『アセス』の導入と概要について	これまでの面談中心の生徒状況把握以外に、学校環境適応尺度（ASSESS, アセス）という測定ツールを導入した事例。アセスの6領域を紹介し、その上で事例も紹介。手段を加えることで情報共有がより進むことが大切としている。	クラーク記念国際高校
H28	7	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校における生徒指導の現状と課題	定通からなる公立の多部制単位制高校。駅前に校舎がある中で、自然体験をいかに行っているか、生徒会活動でどう主体性を引き出すかを紹介。自然とのふれあいや農業体験による爽りの体感の重要性、職業間の育成との関わりなどを述べている。	山形県立霞城学園高校
H28	8	東北・北海道地区 通研大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H29	1	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	本校の個別指導について	公立高校として、教育上の重点目標と生徒の状況に関連させた個別指導としての平日勉強会について事例紹介。平日勉強会は、生徒の基礎学力の不足の対策、進学対象者への対策、Word・Excel講習会について実施、そのほか進路指導時間の確保についても紹介。	青森県立上尾総合高校

H29	2	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	学習支援の取組みについて	自学自習が困難で学習中断になる生徒の学び支援のためのeラーニングと個別学習支援の取組の実践の紹介。EラーニングとしてはレポートへのアドバイスやプリントのPDF配布、独自視聴教材の活用を実施、個別学習支援としては学習サポーターの活用を実施。	宮城県立美田園高校
H29	3	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校の進路指導の取組みについて	公立通信制高校での進路指導の実施の紹介。主に地元校の外部講師を招聘して行う進路研修会と、キャリア教育の観点での保護者会の活用、総合的な学習の時間の活用、進路指導関連ニュース等の資料の内容の工夫、進路指導関連指導の資料の活用の実態を紹介。	青森県立八戸中央高校
H29	4	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	通信制の課程における進路指導～一人ひとりの学習とキャリアを支援するために～	学ぶ意欲のある生徒は受け入れるという姿勢で生徒を受け入れる中で、生徒に応じた受講登録の指導や平日面接指導、集中学習会の面接指導などを行う取り組みの紹介。事例としての理解の指導、卒業後のキャリアを見通した進路指導の実施と成果を示している。	山形県立鶴岡南高校
H29	5	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	多接点による生徒指導～生徒との関わり方について～	「大人の学校」から始まり生徒が多様化した通信制高校での生徒指導についての再考。高校の概要と生徒の変容を踏まえ、生徒指導について「指導」から「ケア」への転換を述べ。そのために報告課題講評欄でのコメントの仕方の工夫を述べている。	北海道有朋高校
H29	6	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校の特別指導の現状と課題について	不登校増加や特別な支援の必要性などの増加を受けての特別活動と学校行事について。特別活動ではLHRや講演会の実施の仕方を紹介。学校行事では生徒の減少と若年化・多様化を受けての重要性を指摘しつつ限られた時間の中での実施の困難さを述べている。	岩手県立杜陵高校本校
H29	7	東北・北海道地区 通研大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H30	1	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	多様な生徒の学びのための本校の取り組み	「学ぶ意欲のある生徒は受け入れる」という方針の公立高校。単位制かつ教育課程上での年次科目配列がありスクーリングの重複がある課題、年度途中入学者のスクーリング時間数確保の工夫を述べ、年間修得単位数0や、卒業できない生徒の増加を課題にあげる。	山形県立鶴岡高校
H30	2	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して	私学女子高でミッションスクールでの通信制であり、文科省委託事業として支援体制とアセスメント方法を研究した事例。カリキュラム・マネジメントの試みを行い、生徒の特色を踏まえて総合的な学習の時間や学校設定科目、ボランティアを重視している。	仙台白百合学園高校

H30	3	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	働き学ぶ生徒への進路指導～指導事例を通して	通信制高校で働き学ぶ者が減る中で、だからこそ生じる働き学ぶ者への進路指導の課題を検討。20代後半～30代女性の進学希望者が増加しつつも入試に伴う困難、新卒就職する場合の課題、高卒だけでは現状が変わらないことに伴う課題を事例で提示し、解決を模索。	北海道有朋高等学校
H30	4	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	本校の進路指導の取組について	県内通信制の改編に伴い、平成24年度に開校の高校。全員に進路決定を迫る全日的対応ではなく自発性に基づいた個別の進路指導を重視しており、進路行事や進学支援、キャリア講座の実際と成果を紹介。残る課題としてアルバイト継続や進路未定への対応をあげる。	宮城県美田園高校
H30	5	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	本校の現状と課題	進路指導上の課題として、非社会的生徒の増加や生徒の希薄な進路実現意識、保護者の経済環境・職業意識に関わる課題、教員の通信制課程への理解不足などを提示。教員の地方労働市場環境への認識不足や、職業類型・学問類型への認識不足なども指摘している。	福島県立郡山萌世高校
H30	6	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校の生徒指導について	中学入学後すぐと全日制からの転編入生が中心での高校で、不登校経験者も多い。生徒は素直で落ち着いているが、基礎学力や社会性、コミュニケーションでの課題も持つ。生徒指導では生徒の動向把握と服装等の指導を中心に、安心できる学習環境の提供を重視する。	青森県立北斗高等学校
H30	7	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	スクールソーシャルワーカーの有効的な活用	8割の生徒が中学校・前籍高校で不登校経験があり、学習評価の上位者と下位者の差も大きいことを踏まえ、生徒指導の面では問題行動の懲戒処分ではなく、未然防止や注意喚起と支援を重視する。体制面ではスクールカウンセラーとSSWを配置し、事例も紹介。	秋田県立秋田明德館高等学校
H30	8	東北・北海道地区 通研大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による協議)		

関東地区通研大会の記録 H21～H25

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H21	1	関東地区通研大会	学校運営	体験学習を中心とした学校運営	体験学習を多く取り入れ、それを単位認定に結び付けている実践例。	鹿島学園高校
H21	2	関東地区通研大会	学校運営	開校6年目を迎えて・・・本校の新しい取り組みと課題	自動車科を設置している中で、高専連携の取り組み等を行い、国家試験の合格率を高めるために学校として様々な工夫をしながら学校運営を行っている。	清和学園高校
H21	3	関東地区通研大会	放送教育	「本校における放送教育の取り組みと現状」	不登校、特別支援が必要な生徒の在籍が増加する中で、放送視聴による減免措置を行うことで単位修得率を高めようとした実践例。	新潟県立高田城南高校
H21	4	関東地区通研大会	放送教育	本校の放送教育導入法	対面授業を重視している中で、基礎学力向上と学び直し等を目的として放送視聴を取り入れた実践例。	国士館高校
H21	5	関東地区通研大会	教科指導（理科）	地球温暖化についての教材作成の試み	地球温暖化について、13項目からなる教材を作成し、理科の授業の一環や総合的な学習に活用したいという研究事例。	日出高校
H21	6	関東地区通研大会	教科指導（理科）	通信制における実験・観察教材開発の試み	通信制の生徒に実験観察を行わせたいという思いから、短期間に実験観察できる教材を開発し、レポート化して指導した実践例。	群馬県立前橋清陵高校
H21	7	関東地区通研大会	教科指導（家庭）	通信制における効果的な指導法への模索	生徒の家庭科科目への取り組み状況や単位修得率、アンケートから、今後の指導方法について工夫改善を試みた研究。	埼玉県立大宮中央高校
H21	8	関東地区通研大会	教科指導（家庭）	通信制における効果的な指導方法の工夫	生徒が興味関心や問題意識を持つことのできる工夫としてスクーリング時に生徒の活動を取り入れ、スライドや補助シートを使用した指導の実践例。	千葉県立千葉大宮高校
H22	1	関東地区通研大会	学校運営	実働生増加に伴う諸課題	生徒増加に伴い、単位修得率向上、進路指導などの多面的な観点からそれぞれの課題と方策をまとめている。	群馬県立前橋清陵高校
H22	2	関東地区通研大会	学校運営	開志学園高等学校における学校運営について	独自に展開するコースのカリキュラムに沿った運営の工夫について報告している。	開志学園高校
H22	3	関東地区通研大会	教科指導（数学）	数学Ⅰ履修者の放送視聴を利用した問題解決について	ネット学習やレポート提出などといった特色のある指導の取り組みと数学Ⅰに対する意識調査をアンケートを通して分析している。	日本放送協会学園高校 日本放送協会学園高校

H22	4	関東地区通研大会	教科指導（数学）	数学嫌いの生徒に、数学に取り組みさせるための工夫	理科系科目離れが加速する中、主体的な学習の定着を促すための改善点やレポート内容について。	駿台甲府高校
H22	5	関東地区通研大会	教科指導（保健体育）	本校通信制保健体育の現状と課題	保健体育指導におけるスクーリングの実施方法や免除法に関してのメリットや課題を述べている。	文理開成高校
H22	6	関東地区通研大会	教科指導（保健体育）	『同定理論』に於ける運動技術の指導法	「同定理論」から多様化する生徒の扱い方を考えた指導法の理論を展開している。	北豊島高校
H22	7	関東地区通研大会	放送教育	放送教育活用への取り組み	所属校における放送視聴利用状況や特性を踏まえ、生徒の興味を引き出すための放送視聴の活用について考察している。	群馬県立桐生女子高校
H22	8	関東地区通研大会	放送教育	本校における放送教育の取り組み	多様化する生徒の現状を踏まえ、通信制の特色を生かした放送教育研究を目的とした放送視聴学習の実践報告。	山梨県立中央高校
H23	1	関東地区通研大会	学校運営	本校の現状と課題	所属校の現状、生徒の単位修得率をグラフや表を用いて報告している。	東京都立新宿山吹高校
H23	2	関東地区通研大会	学校運営	放送教育コースの学習システム	放送教育コースの指導における工夫や今後の放送教育指導における課題について。	東海大学付属望星高校 東海大学付属望星高校
H23	3	関東地区通研大会	教科指導（国語）	NHK高校講座導入によるスクーリングの実践	放送教育の指導における工夫や留意点を挙げ、スクーリングへの効果を検証した実践研究。	国土館高校
H23	4	関東地区通研大会	教科指導（国語）	修悠館スタンダードの確立について～解りやすいスクーリングと取り組みやすいレポート～	スクーリングにおける特色ある取り組みと、現状の課題解決に向けての実践報告。	神奈川県立横浜修悠館高校 神奈川県立横浜修悠館高校
H23	5	関東地区通研大会	教科指導（理科）	本校通信制課程における理科教育の現状と課題	理科指導における学習意欲向上を促すために実習を取り入れ、その実践研究と今後の課題について。	東京都立砂川高校
H23	6	関東地区通研大会	教科指導（理科）	本校における理科教育の取り組み	所属校で実践しているスクーリングの工夫、理科の各単位修得率の推移を挙げ、実際の生徒の放送視聴票や実習風景を紹介している。	新潟県立高田南城高校
H23	7	関東地区通研大会	放送教育	本校の放送視聴	所属校に設置された二つのコースを比較しながら、生徒への放送視聴における意識調査をアンケートを通して実践している事例。	北豊島高校 北豊島高校

H23	8	関東地区通研大会	放送教育	ベーシック10の活用と課題	ベーシック10を活用した放送教育の実践と、生徒の意識調査をアンケートから分析している。	日本放送協会学園高校 日本放送協会学園高校
H24	1	関東地区通研大会	学校運営	宇都宮高等学校通信制課程の生徒の実態と課題	生徒の実態を理解するにあたって日々生徒と接触し状況を把握している教員へのアンケート調査を実施し、結果をまとめている。	栃木県立宇都宮高校
H24	2	関東地区通研大会	学校運営	学校紹介	所属校における指導の取り組みや生徒の実態を明らかにし、併せて生徒と保護者に向けた学校生活についてのアンケート調査の結果を報告している。	新潟県立新潟翠江高校
H24	3	関東地区通研大会	教科指導（地歴・公民）	スクーリングにおけるICT機器の活用	ICT機器を使用した授業の実践報告と、生徒への聞き取り調査をもとに今後の課題と方策について。	東京都立一橋高校
H24	4	関東地区通研大会	教科指導（地歴・公民）	日出高等学校通信制課程地歴公民科の現状と課題	所属校における特色のあるスクーリングの取り組みと実践した上で明らかになった改善点の報告。	日出高校 日出高校
H24	5	関東地区通研大会	教科指導（情報）	生徒の実態に応じた授業の工夫について	情報の学習における生徒へのアンケート調査結果の報告と、パソコンに苦手意識を持つ生徒へ配慮した指導内容の工夫について。	群馬県立高崎高校
H24	6	関東地区通研大会	教科指導（情報）	本校情報科の現状	多様なコースに所属する生徒のニーズに合わせた情報科指導の工夫と、今後の課題として情報表現の向上と情報モラル教育の促進について。	開志学園高校
H24	7	関東地区通研大会	放送教育	本校における放送教育の取り組みと課題	多様化する生徒の現状を踏まえ、通信制の特色を生かした放送教育研究を目的とした放送視聴学習の実践報告。	山梨県立中央高校
H24	8	関東地区通研大会	放送教育	スクーリング映像の配信	今後展開される教育の情報化に向けてスクーリングの映像配信を試みている。その諸活動、および実験報告。	駿台甲府高校
H25	1	関東地区通研大会	学校運営	学芸館高等学校創立10年目を迎えて	創立10周年にあたって、所属校での特色ある取り組みを総括し、これまでの成果と今後の課題について。	学芸館高校
H25	2	関東地区通研大会	学校運営	本校の現状と課題	スクーリング、進路指導、生徒指導等の、それぞれの工夫や取り組みを述べ、課題を分析している。	埼玉県立大宮中央高校

H25	3	関東地区通研大会	教科指導（英語）	生徒への学習支援の課題と工夫	英語学習の意識調査をアンケートから分析し、今後の課題と方策について。	東京都立新宿山吹高校
H25	4	関東地区通研大会	教科指導（英語）	牧水とワーズワス～言葉を生きる力にして～	牧水とワーズワスの課題を通して英語の学習意欲向上と単位修得率向上への取り組みについて。	国土館高校
H25	5	関東地区通研大会	教科指導（家庭）	本校における教員の研修とスクーリングの工夫 ～フードデザインを題材として～	家庭科の学習定着率向上のための指導工夫や留意点について。	科学技術学園高校
H25	6	関東地区通研大会	教科指導（家庭）	技能連携高における家庭科教育	通信制高校と高等専修学校との連携による特色ある取り組みや工夫について。	茨城県立水戸南高校 茨城県立水戸南高校 細谷高等専修学校
H25	7	関東地区通研大会	放送教育	通信制高校における学習環境づくり ～放送教育を触媒に～	生徒の学習支援を目的とした放送教材の活用に向けた取り組みと更なる学習環境の充実を図るための工夫について。	千葉県立千葉大宮高校 千葉県立千葉大宮高校
H25	8	関東地区通研大会	放送教育	本校における放送教育の取り組み	生徒の放送視聴学習の向上を目的とした指導の工夫やその取り組みについて。	栃木県立学悠館高校 栃木県立学悠館高校

関東地区通研大会の記録 H26～H30

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H27	1	関東地区通研大会	学校運営	本校通信制の現状と課題	公立の通信制高校で学校運営の点から教職員組織、在籍生・卒業生数、県内の中学3年生数や不登校者数の変化をデータで提示。教務的課題を挙げ、単位修得に関わる工夫や教育課程・学習活動の見直し、不登校生徒対応の工夫などの対応を紹介。	山梨県立中央高校
H27	2	関東地区通研大会	学校運営	本校の課題と取り組み	県内の通信制4校の比較、自校の生徒変化、履修制度、学校行事、生徒・保護者のへ連絡方法等を紹介。教育上の課題への対応としては「学びたい」気持ちの重視、自主性の尊重、主体的な進路選択に向けた指導（TKプロジェクト）、開かれた学校づくりの点の取組を提示している。	群馬県立高崎高校
H27	3	関東地区通研大会	放送教育	放送視聴教育の『よこ』と『たて』の連携に向けた取り組み	生徒用MYPAGE（スマホ版含む）によるNHK高校講座の活用があり、かつ放送視聴を利用しつつもスクーリングが重視されている状況を踏まえ、講座利用を複数科目へ広げる工夫、ベーシックの講座を通じた中学校との連携について取り組みを提示。	新潟県立新潟翠江高校
H27	4	関東地区通研大会	放送教育	ICT 環境の充実に基づく高校講座の活用	大規模通信制として不登校経験や発達課題を持つなど多様な生徒がいる中でIT活用の講座をしている高校において、ICT環境をどのように整えて、どのように実践をおこなっているか、教員研修・アンケート、実践の成果の両面を含めて紹介・検討した。	神奈川県立横浜修悠館高校
H27	5	関東地区通研大会	生徒指導	千葉大宮高校の生徒指導の現状と課題	通信制単独校である大規模公立高校において、生徒層の変化、特定生徒への対応を通じて考えられた『もうひと手間の生徒指導』という発想について紹介。1年目の生徒の対応の重要性やトラブルを防ぐための方針を示している。	千葉県立千葉大宮高校
H27	6	関東地区通研大会	生徒指導	本校における生徒指導について	特定曜日だけの登校のコース、eラーニングコース、通学コースを持つ私立広域通信制高校において、時期による生徒の問題行動などの変化、それを踏まえた生徒指導や相談体制の工夫の変遷、結果としての単位修得状況と今後の展望を提示している。	科学技術学園高等学校
H27	7	関東地区通研大会	教科指導（数学）	本校数学教育の現状と課題	数学科において、基礎的な知識・技術の習得と創造性の両者の重要性を指摘。指導では自学自習が中心の中で考えること、その過程を答案に書くことを推奨する。具体的な報告課題と答案例の提示や、出席回数と報告課題の合格の関係の分析からの課題についても言及。	栃木県立宇都宮高校
H27	8	関東地区通研大会	教科指導（数学）	本校数学科の取り組み	数学科のレポート・スクーリング・試験の学習形態、受講者と単位修得率の推移を紹介。新規受講生と再受講生の状況をデータ比較し、単位修得率向上に向けた取り組みの具体的な方策を提示している。	埼玉県立大宮中央高校

H27	9	関東地区通研大会	教科指導 (保健体育)	本校における喫煙指導の現状と課題	自動車科を持ち、登校型が中心の私立の広域通信制高校。ゼミナールや高校・専門学校の連携などの教育も行う。生徒指導の中で校内での喫煙行為を課題として掲げ、保健体育で喫煙に関してスクーリングで指導をした取り組みと成果を紹介。	清和学園高校
H27	10	関東地区通研大会	教科指導 (保健体育)	本校の学習システムについて	登校回数が月2回程度の私立通信制高校における保健体育の学習システムの紹介。体育では面接指導の実施は2時限連続で行い、レポートでは放送講座も活用している。スクーリングについては生涯スポーツの観点からの実施についても紹介。	東海大学付属望星高校
H28	1	関東地区通研大会	学校運営	本校通信制の取り組みについて	公立高校として入学や進路を含む生徒状況、教育課程に関する事項を紹介。生徒の若年化・多様化(背景の多様化、基礎学力の不足、不活動生徒の増加)を受けた生徒指導、中学校訪問、保健・教育相談・経済支援などでの工夫についても提示。	茨城県立水戸南高校
H28	2	関東地区通研大会	学校運営	本校通信制の現状と課題	開校12年目の公立高校。教育課程を中心にした学校概要、学校管理システムや広報誌、受講登録、学習状況把握、校務分掌に関するの特色を紹介。12年間での入学者数の増減と、その中でも課題を整理して報告している。	群馬県立太田フレックス高校
H28	3	関東地区通研大会	生徒指導	本校生徒指導の現状と課題	生徒指導の側面から生徒会活動の実際と意義、通信フェスタ・運動会の実施状況とアンケートでの評価、部活動の状況、教育相談体制についてを紹介。通信制で生徒と接する時間や使える設備が限られる制約や、個別対応の必要性などにも言及している。	東京都立一橋高校
H28	4	関東地区通研大会	生徒指導	多様な学習を支援する教育態勢と相談体制の構築について	全定通を持つフレキシブルスクール。現状と課題として生徒の多様性、校内資源の不足、進路決定率の低さをあげ、支援体制・外部資源活用・進路保障のために行った改善内容を提示。特に学習支援の取組み、相談支援体制構築での取組みを詳しく紹介。	神奈川県立厚木清南高校
H28	5	関東地区通研大会	放送教育	全職員で取り組んだ放送教育	「生徒のより豊かな学びの実現」のため学習支援に放送教育を取り入れを強化した4年間の取り組みの紹介。実施方法の検討と実態把握から始まり、具体的な導入推進方策(面接指導や報告課題での活用)に至った流れや現状を紹介している。	栃木県立学悠館高校
H28	6	関東地区通研大会	放送教育	放送視聴の実態把握と活用について考える	直近2年の放送教育への取り組み、学習時間や学習方法・高校講座利用に関する調査、教職員研修を紹介。アンケートでは、年次と学習時間の関係や、友人などに教わるケースとインターネットで学ぶケースがともに多いことなどが紹介されている。	埼玉県立大宮中央高校
H28	7	関東地区通研大会	教科指導(国語)	本校国語教育の現状と課題～国語総合を通して～	教育上の取り組みとしての面接指導、添削指導、基礎学力強化の「学びの時間」、個別指導を強化した学習指導日、国語教育について紹介。国語では、国語総合の指導方針、現代文・古文・漢文での授業の力点、現状と課題を提示している。	栃木県立宇都宮高校

H28	8	関東地区通研大会	教科指導（国語）	学芸館高校における国語教育の現状	国語教育に関して現代文・古文・国語表現のレポート例、スクーリング配布物を用いて指導について紹介。指導上の工夫としてグレード別授業を導入しており、それぞれのレベルでの内容についても紹介している。	学芸館高校
H28	9	関東地区通研大会	教科指導（英語）	東京都独自教材“Welcome to Tokyo”を活用した外国人教員とのティーム・ティーチングによる面接指導	「英語を聞く・話す活動」であるコミュニケーション英語を必修科目として設置。スクーリングでの活動内容として自己紹介や人に説明する活動、感想を述べる活動、東京都独自教材を使った活動について時間配分や実施方法を紹介している。	東京都立砂川高校
H28	10	関東地区通研大会	教科指導（英語）	支援視点の英語教育	重層的支援を重視している公立高校で具体的な支援側面、支援としての生徒指導、スクーリングでの支援、IT活用による支援、高学力を含む多様な学力者へに支援、支援を重視した英語教育の実際について紹介。	神奈川県立横浜修悠館高校
H29	1	関東地区通研大会	学校運営	本校の現状と課題	登校スタイルで学習指導を行ってきた広域通信制高校の改革の紹介。沿革、教育方針など概要のほか、カウンセリングの設置による不登校生徒への対応や海外高校との国際交流、多様なニーズへの対応としての変革にも触れている。	武蔵野星城高校
H29	2	関東地区通研大会	学校運営	生徒管理システムについて	公立の単位制高校での生徒の在籍、成績、学習状況など個人情報管理システムの紹介。システム上でできることとして、生徒検索、レポート・スクーリング・試験の状況の管理、OCR処理などについて触れ、機種更新の問題にも触れている。	埼玉県立大宮中央高校
H29	3	関東地区通研大会	生徒指導	群馬県立前橋清陵高等学通信制生徒指の現状と課題	公立通信制高校としての概要と生徒指導の現状について。生徒指導関連で生徒の「学び直し」の状況や単位修得、問題行動への指導・特別支援に関わる体制、生徒会指導と関連する生徒会活動の状況を紹介し、生徒指導の課題を提示している。	群馬県立前橋清陵高校
H29	4	関東地区通研大会	生徒指導	本校のキャリア教育の取組と課題	公立通信制高校での学習システムや具体的な特別活動の状況、教務・生徒指導の校務分掌、困難を抱えた生徒の状況分析。それを踏まえたキャリア教育の実践内容とその際の生徒の状況を踏まえた成果と課題の提示をしている。	新潟県立高田南城高校
H29	5	関東地区通研大会	放送教育	通信制高校における放送教育の効果的な活用に向けた取り組み～中高連携を視野に入れた実践研究と現在の取り組みの状況の紹介～	単位制通信制高校でのNHK高校講座と生徒ごとのネット上のページ（MYPAGE）の関連のさせ方の紹介。放送視聴教育に関して、NHK高校講座を中心にした教科間のよこの連携と、中学校とのたての連携の点で実際の取り組みを示している。	新潟県立新潟翠江高校
H29	6	関東地区通研大会	放送教育	本校の学習システムについて～広域通信制高等学校の質の確保・向上に関する調査研究協力者会議から～	自前で高校通信講座を作成する広域通信制高校の事例。教育の機会均等の理念の実現に向けて行ってきたこと、オンデマンド視聴も可能な高校通信教育講座の取り組み、講座とレポートの関係、履修から単位認定までの流れを紹介している。	東海大学望星高校

H29	7	関東地区通研大会	教科指導（地歴公民）	支援が必要な生徒への地歴公民科としてのアプローチ	発達障害だけでなく学校の学習への不応や困難を抱える生徒への支援についての、地歴公民科でのアプローチの事例。レポートや補助教材作成時の工夫、スクーリングでのアクティブ・ラーニングの実践や学習支援の実践についてを紹介している。	清和学園高校
H29	8	関東地区通研大会	教科指導（地歴公民）	地歴公民科の現状と課題	生徒の若年化、学習到達度や学習スキルのばらつきの拡大を踏まえた学習指導の工夫、面接授業の改善、進路指導の充実についての事例。具体例として地歴公民科を挙げ、開講科目、レポート添削の工夫を中心に、テストや授業の工夫についても紹介している。	群馬県立高崎高校
H29	9	関東地区通研大会	教科指導（情報）	教科にとらわれない情報教育	多様な生徒層に対して自学自習を求める通信制の中で、情報化としてできることを検討した事例。一方向のやり取りにならないようにする工夫を、スクーリングの指導やグループ学習、スライド作成、発表、講評でどのように行ったかを紹介している。	科学技術学園高校
H29	10	関東地区通研大会	教科指導（情報）	本校における情報教育の現状	個性を重視する教育理念の単位制通信制高校での情報科の学習指導の紹介。各科目での目標設定と指導の実際や生徒のパソコン操作能力情報モラルの状況についてを紹介し、目指す点として情報表現能力の向上、実践的な情報モラル教育を掲げている。	開志学園高校
H30	1	関東地区通研大会	学校運営	本校の現状と課題	芸能活動やスポーツ活動をする生徒が多い通信制高校。国数の入門科目や、芸術やスポーツ系科目も置く。学内で全日制と通信制で転籍も可能、「学校と家庭の二人三脚」の教育を目指す、課題として生徒数の伸び悩みや不登校気味の生徒の増加などを挙げている。	日出高校
H30	2	関東地区通研大会	学校運営	本校の現状と取組みについて	広域制・単位制の私学通信制。「進学を目指す通信制」を特色に予備校と提携、集中講座、進学ガイダンス、課題講座、TA制度を取っており、生徒・保護者へのアンケート結果も紹介。共通テストに向けて生徒が学習成果資料を準備する方法を課題にあげる。	駿台甲府高校
H30	3	関東地区通研大会	生徒指導	千葉大宮高校の生徒指導の現状と課題～もうひと手間の生徒指導～	通信制単独校の事例。大人数が登校するスクーリングと集団に入れない生徒向けのスクーリングを併用。若年化や精神面の不安定さを持つ生徒の増加などの変化を踏まえ、生徒指導で留意している点、スクーリングでの職員・保護者付き添いの状況などを紹介。	千葉県立千葉大宮高校
H30	4	関東地区通研大会	生徒指導	本校の生徒指導の現状と課題	通信制としても70年の歴史を持ち、女子生徒が80%以上を占める公立高校。子育てをしている主婦に勉学の機会をあたためるための託児の取り組みや、近年開始した教育相談の取り組み、生徒指導の実際と、課題としての多様な世代の生徒間の関係作りなどを提示。	群馬県立桐生女子高校
H30	5	関東地区通研大会	放送教育	NHK高校講座の効果的な活用研究	メディア活用をした教育を行うために、事前の学ぶ姿勢作り、スクーリングとの併用での重要な点などを提示。「社会と情報」でNHK高校講座の活用をした際の生徒の感想や、総合的な学習の時間や進路指導、教育相談でNHK高校講座を活用した事例も紹介。	栃木県立宇都宮高校

H30	6	関東地区通研大会	放送教育	メディア教育を利用した簿記学習の実践	放送利用の高校として、簿記の放送開始前と開始後の学習方法の変化や、放送活用による効果の検証を実施。自作動画の活用、TV会議システムの活用などのメディア導入の効果も検証し、スクーリング依存度の低下の状況も示している。	NHK学園高校
H30	7	関東地区通研大会	教科指導（理科）	本校における実験、実習への取り組み	生徒が理科の面白さを実感し、興味・関心を持てるように野外学習や実験・実習・観察を取り入れている。野外学習のテーマや資料、実験・実習の内容と教材を紹介し、スクーリングでレポート等の解説のみならず、学びの面白さを伝えることの重要性を述べている。	茨城県立水戸南高校
H30	8	関東地区通研大会	教科指導（理科）	本校理科教育の取り組み	「生涯学び続ける」ことを教育目標に掲げ、定通併修も行う公立高校。理科教育のレポート・スクーリング・テストそれぞれの心がけていることや工夫を紹介。PowerPointとプリントを使った解説授業、NHK高校講座を取り入れた授業の実践例を紹介している。	群馬県立太田フレックス高校
H30	9	関東地区通研大会	教科指導（家庭）	実習を取りれた「家庭総合」「地域研究」の指導実践	「家庭総合」における実践的な学習をレポート課題や調べ学習、実習をもとに紹介。自ら考え、触れるなどの体験から、記憶に残る知識や技術、達成感、コミュニケーションが得られるが、生活経験が乏しい生徒にはハードルが高いことなどの課題も挙げている。	山梨県立中高高校
H30	10	関東地区通研大会	教科指導（家庭）	実生活での活用につながる家庭科を目指して	放送での面接の減免は行っていない公立高校。家庭総合のスクーリング改善に向け「課題解決策を構想する力」「生活課題の発見」「意欲を高める」を目標に、資料提示やプリントでの到達度チェックなどの改善方策、NHK高校講座のレポート課題での活用を紹介。	開志学園高校

中部地区通研大会 H21～H25

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H21	1	中部地区通研大会	学習指導（学校運営）	単位修得率の向上に向けて - 本校通信制の試み -	転編生、不登校経験者、基礎学力不足等の生徒実態の中、特に1年次科目の単位修得率向上を目指した、学校説明会や保護者会、個人面談等を実施した事例。	石川県立金沢泉丘高校
H21	2	中部地区通研大会	学習指導（学校運営）	充実した学習指導を目指して	基礎学力不足の生徒に対して、「基礎講座」を開講実施した結果を踏まえ、更に検討した具体策を実践した事例。	愛知県立刈谷東高校
H21	3	中部地区通研大会	学習指導（教育相談）	通信制高校における教育相談体制に関する研究	不登校、支援を必要とする生徒が通信制高校に多く在籍する中で、それに対応する養護教諭やスクールカウンセラーの教育相談体制に関して、地区加盟校へのアンケートによりその実態を把握した研究例。	福井県立道守高校
H21	4	中部地区通研大会	生徒指導	松本筑摩高校生徒の実情とその課題	クラスを地区出身の生徒毎に編成した中での単位修得率と生徒指導上の問題等を追跡調査、分析を行った事例。	長野県松本筑摩高校 長野県松本筑摩高校
H21	5	中部地区通研大会	放送教育	本校における放送教育の現状と今後の課題	家庭で自学自習を継続させるために、放送視聴はどのようにあるべきかを生徒からのアンケートより実態把握をした指導事例。	岐阜県立飛騨高山高校
H21	6	中部地区通研大会	放送教育	通信制高校における放送視聴へのポータル機能充実に関する研究	放送視聴により学習に対する興味関心と内容理解の促進を図ることを目的として、広報活動、環境整備、教材開発、制度設計等に取り組んだ研究。	静岡県立静岡中央高校
H22	1	中部地区通研大会	学習指導（学校運営）	近年の本校での取り組み	卒業に向けた所属校の特色ある教育体制の取り組みや見えてきた課題について報告している。	長野県長野西高校
H22	2	中部地区通研大会	学習指導（学校運営）	自己表現による学習意欲の増大	所属校における教科指導での自己表現増幅のために実践した研究報告。	三重県立松阪高校
H22	3	中部地区通研大会	生徒指導	帰属意識を高める生徒の指導	所属校での生徒指導の現状を述べ、学校行事の特色ある取り組みについて報告し、生徒の支援を促している。	愛知県立旭陵高校
H22	4	中部地区通研大会	生徒指導	本校の特別活動での取り組み	ホームルーム、生徒会活動、部活動などの多面的な実態の詳細を挙げ、生徒が社会の一員として自立できるような指導の工夫を試みている。	富山県立雄峰高校
H22	5	中部地区通研大会	放送教育	通信制の学びに放送視聴をどのように取り入れるか	近年内容、送出方法に改善が見られた「NHK高校講座」の効果的な活用について、対象の生徒を数カ月観察、検証し、結果を報告した実践研究。	長野県松本筑摩高校

H22	6	中部地区通研大会	放送教育	本校における放送視聴の取り組みについて	放送視聴教育を生徒の自学自習、発展的な学習のためのツールとして捉え、3年間の放送教育に関する取り組みについて報告している。	岐阜県立 華陽フロンティア高校
H23	1	中部地区通研大会	学校運営	よりよい学習システムの構築をめざして -2学期制移行にともなう本校の取り組みと今後の課題-	二学期制の導入など、生徒にとってより良い学習形態を目指すために取り組んだ実践報告。	福井県立道守高校 福井県立道守高校
H23	2	中部地区通研大会	学校運営	学びたい人が学びたいときに学びたいスタイルで学べる学習環境 —生徒の学習プロセスを通して—	多様化する生徒へのきめ細やかな支援、指導を目指し取り組んだ実践報告、また課題や今後の方策について。	三重県立北星高校 三重県立北星高校 三重県立北星高校
H23	3	中部地区通研大会	生徒指導	安心できる学習環境づくり	基本的な学習習慣と規範意識の定着を目標に実践した生徒指導の工夫や取り組みの報告。	石川県立金沢泉丘高校
H23	4	中部地区通研大会	生徒指導	生徒指導の取り組み	問題行動に対する指導やガイドライン、巡視ノート等の紹介と生徒の規範意識の現状をアンケート調査から分析している。	長野県長野西高校
H23	5	中部地区通研大会	放送教育	本校における放送教育の現状と課題	生徒・教職員に向けた放送教育に対する意識調査を踏まえ、放送利用についての実践例を提示し今後の課題や方策について報告している。	愛知県立刈谷東高校
H23	6	中部地区通研大会	放送教育	本校の放送教育の取り組みについて	視聴覚教材の活用の見直しにあたって、生徒へのアンケート調査をもとに今後の利用法を分析している。	三重県立松阪高校
H24	1	中部地区通研大会	学習指導（学校運営）	本校における学習指導のあり方と今後の方向性	所属校のホームページに掲載しているラップトップ・スクール「教科の部屋」の活用の実態と単位修得率の関係性、活用を促進するための取り組みについて。	岐阜県立華陽フロンティア高校 岐阜県立華陽フロンティア高校
H24	2	中部地区通研大会	学習指導（学校運営）	3キャンパス体制における現状と課題	生徒の低年齢化・多様化に伴い、所属校ではきめ細やかな指導体制を取るため3キャンパスを開講した。それぞれのキャンパスでの学習システムの現状を報告している。	静岡県立静岡中央高校 静岡県立静岡中央高校 静岡県立静岡中央高校
H24	3	中部地区通研大会	生徒指導	通信制生徒の変容について PART III	所属校における最近の生徒の実態を挙げ、現状の課題と出口指導、今後の方策について。	岐阜県立飛騨高山高校

H24	4	中部地区通研大会	生徒指導	通信制高校における教育相談についての一考察	在校生の教育相談に関する現状、教師に期待すること、セルフエスティーム、栄養と心の関係についてアンケート調査を実施し、調査結果を報告している。また分析の結果から、通信制高校の教育相談のあり方などについての考察。	三重県立松阪高校
H24	5	中部地区通研大会	放送教育	本校における放送視聴の取り組みについて ～NHK高校講座を中心に～	放送視聴学習における生徒の意識調査と、放送視聴をスクーリングの代替とする仕組みに対し教職員へのアンケート調査も併せて実施し、その分析結果の報告。	石川県立金沢泉丘高校
H24	6	中部地区通研大会	放送教育	本校における放送教育の現状	所属校の特色から放送視聴教育に関わりがなかった経緯があり、それを踏まえた放送教育に関する意識調査を生徒、教師へのアンケートで明らかにしている。	長野県長野西高校
H25	1	中部地区通研大会	学習指導（学校運営）	自主学习支援に対する本校の取り組み ～『学びルーム』の設置と活用を中心に～	学びルームの設置により、学習内容の定着と積極的な自学自習の促進を図るとともに、アンケート調査をもとに学びルーム利用の実態を分析している。	富山県立雄峰高校
H25	2	中部地区通研大会	学習指導（学校運営）	旭陵高校の定期試験制度改革について	定期試験の受験率低下に伴い、従来の試験制度の見直しと受験率向上促進のための取り組みについて。	愛知県立旭陵高校
H25	3	中部地区通研大会	生徒指導	生徒指導の取り組みと学習環境作り	学習意欲のない生徒や、問題行動の多い生徒に対する規範意識の定着や単位修得率向上を目指した各々の意識改革の実践報告。	長野県松本筑摩高校
H25	4	中部地区通研大会	生徒指導	本校の教育相談における現状と課題について一発達障がいなどの問題を抱える生徒への対応	学習に取り組みやすい環境を作るための生徒指導における工夫や教育相談の体制などを挙げ、それぞれの課題と成果について報告している。	岐阜県立華陽フロンティア高校
H25	5	中部地区通研大会	放送教育	本校における放送教育の取り組みと課題	所属校における放送教育指導の具体案を挙げ、実践した成果について。	福井県立道守高校
H25	6	中部地区通研大会	放送教育	本校における放送視聴利用の実態と積極的利用の模索	放送視聴の利用促進のために工夫した指導における実践研究。	三重県立北星高校

中部地区通研大会の記録 H26～H30

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H26	1	中部地区通研大会	学習指導	CHANGE -真に学べる学校-	数年前まで授業中の私語、授業妨害等が目立っていた高校が「落ち着いた」雰囲気になって来るまでの取組を発表。学習指導の面ではアンケート実施、添削研究会、公開授業、成績不振者への指導の充実を行ったことなどを報告している。	長野県立長野西高校
H26	2	中部地区通研大会	学習指導	変容する通信制での学びの充実 ～今ここで私たちのできること～	少人数制の通信制で「気長、丁寧、親切」をモットーに指導。低学力生徒についての情報共有、自己肯定感の涵養、個別指導の充実の点から実践事例を紹介。学習支援のシステム作り、生徒の自立への移行などに課題があることが報告された。	岐阜県立飛騨高山高校
H26	3	中部地区通研大会	生徒指導	刈谷東通信制の学校行事	公立校として教育の体制と生徒の現状を踏まえ、生徒指導に関しての規律指導と問題行動の状況を紹介。さらに、個別の学校行事として新入生オリエンテーション、家庭訪問や保護者面談、体育大会、文化祭などの内容や成果を詳細に紹介している。	愛知県立刈谷東高校
H26	4	中部地区通研大会	生徒指導	本校の生徒指導の現状と問題点について	生徒指導面で「こころの教育」を重視し、生徒指導場面で「危機」を招かない日常の取り組みの重要性を述べ、「危機」への対応に関して実際の内容を踏まえて対応について報告している。さらに生徒の多様化を示す事例も紹介している。	三重県立北星高校
H26	5	中部地区通研大会	放送教育	放送教育へのアプローチ ～通信教育の方向性～	NHK高校講座が十分には活用されていない中、利用促進を目指したレポートへの導入や「放送のすすめ」「放送メモ」の作成の実践、自主学習支援として特別スクーリングや質問教室（個別面接）の実施、「学びルーム」の開などを紹介。	富山県立雄峰高校
H26	6	中部地区通研大会	放送教育	『放送その他の多様なメディアを利用した授業』（高等学校通信教育第2条第2校）における著作権法上の問題	多様なメディアを利用できるようになったが、実際には多様なメディアの活用は必ずしも進んでいない。この要因として著作権法上の問題を指摘し、通学制の授業と通信制での教育における著作権上の問題を検討、提言を行っている。	愛知県立旭陵高校
H26	7	中部地区通研大会	放送教育	全通研放送教育研究 中間発表「放送教育の充実」	在籍生徒数が100名前後の小規模通信制高校。平成25年度には放送教育を取り巻く現状把握、情報交流、生徒アンケート、学内の制度改革を行った内容を紹介。平成26年度の計画として職員研修などについても言及した。	岐阜県立飛騨高山高校

H26	8	中部地区通研大会	教育課程	生徒の実態を踏まえた教育課程の編成 ～ 半期単位認定の取り組み～	半期単位認定制度を導入した成果と課題。半期の通年2学期制導入にあたり、生徒自身の科目選択制度を維持したこと、学習図書・読み替え・受講制限に関して変更した点、導入したことによるメリット・デメリットを紹介している。	岐阜県立華陽フロンティア高校
H28	1	中部地区通研大会	学習指導	本校におけるキャリア教育の成果と課題	普通科と衛生看護科を持つ公立高校。生徒に基本的な生活習慣や学習習慣で課題があること、就労に関する不安が強いこと、生活・社会体験が不足すること、長期的展望が弱いことを課題とし、それに沿ったキャリア教育の取り組みと成果を紹介した。	富山県立雄峰高校
H28	2	中部地区通研大会	学習指導	年度途中の転入生の学習指導について	年度途中の全日制からの転学には困難点が多いため、年度途中転入生の学習活動を調査、指導上の問題点と改善点を検証した。結果、通信制を十分知らずにテン州してくる生徒や、最初に出すべきレポートが多いという課題などが明らかにされた。	愛知県立刈谷東高校
H28	3	中部地区通研大会	生徒指導	「学校行事」 ～他者とつながるきっかけとして～	高卒資格を求めて通信制に入学する生徒が多い中で人と触れ合う機会として行事が重要であることを指摘。生徒の変化や生徒指導の現状を踏まえつつ、生徒指導課が中心で行う学校行事の実際と課題、展望を紹介している。	愛知県立旭陵高校
H28	4	中部地区通研大会	生徒指導	静岡中央高校・生徒課の近年の取組と課題	3つの校舎で教育を行う公立通信制高校。生徒課の取組として、学校行事における生徒同士の交流の強化や特別活動としての扱い、教員間での生徒情報共有の方法、対人関係に困難のある生徒への講座、生徒指導事例に沿った実践について紹介している。	静岡県立静岡中央高校
H28	5	中部地区通研大会	放送教育	NHK高校講座をどのように利用するか	放送視聴だけではなく、すべての教科の面接指導にNHK高校講座を取り入れた高校の事例。放送を利用する面接指導を行った際の工夫を複数教科で紹介、高校講座を総合的な学習の時間に取り入れた実践も紹介している。	長野県立松本筑摩高校
H28	6	中部地区通研大会	放送教育	報告課題における放送視聴の活用と動画配信による自学自習の充実について	学習意欲の向上を図る学習活動を行うために放送教育を取り入れた事例。地歴公民科目でNHK高校講座を組み込んだ報告課題を作成した実践や、数学科での動画配信による自学自習の支援を行った取り組みについてを紹介している。	岐阜県立華陽フロンティア高校
H28	7	中部地区通研大会	教育課程・学習指導	信州学へつながる本校の取り組み	学校として地区活動を重視し、また県教育委員会において「信州学」が提言されている。その中で地区活動の一環として地区ハイクや地区別のテーマに基づく見学活動、研究発表、文化祭展示を行い、地元の再発見や自信などの点の成果を報告している。	長野県立松本筑摩高校

H29	1	中部地区通研大会	学習指導	自分ならではの学びを目指して一人面談を通しての学習システムの活用―	定通一体型の学校運営を目指した公立高校の事例。個人の学習状況に合わせるために、単位制を生かした半期ごとの学び直し、スクーリング曜日選択制度、個別指導の時間割を活用した少人数講座、定通併修と転籍制度の4つの仕組みを導入している。	三重県立北星高校
H29	2	中部地区通研大会	学習指導	『生きる力』を育む学修支援の取組	県内唯一の公立通信制高校での学習支援策の構築までの過程の事例。不登校や発達に不安を持つ生徒の増加を踏まえての、学習システムの改善により単位修得がどうに変わったかや曜日での学習支援の事例を紹介している。	静岡県立静岡中央高校
H29	3	中部地区通研大会	生徒指導	生徒の現状と生徒指導のあり方	県内唯一の公立通信制高校としての在籍生徒の状況や高校の特色、科目別単位修得状況、活動生の就業状況と、それを踏まえての特別活動としての生徒会活動、体験学習、生活体験発表会、修学旅行、学園祭などの紹介。	石川県立金沢泉丘高校
H29	4	中部地区通研大会	生徒指導	本校が直面する『生徒数減少』にともなう学校行事運営の困難化について	受講登録生の急激な減少により学校行事の運営や継続が困難になりつつある中で、生徒像の変化を踏まえて、どのように学校行事を運営しているかとその改善策についてを紹介。具体的には、生徒会活動、学校祭、部活動等の実際、関連した教員間の質疑を掲載。	福井県立道守高校
H29	5	中部地区通研大会	放送教育	本校における放送教育の現状と課題	学校内で放送視聴を面接時間として認める条件があることから放送視聴は少ない高校で、面接時間の加算以外での放送教育の活用を探った。具体的に簿記での事例、各教科での視聴覚教材の利用を取り上げ、放送教育に一方向になりやすい点がある課題を提示。	愛知県立刈谷東高校
H29	6	中部地区通研大会	放送教育	学習支援におけるNHK高校講座の活用	公立通信制高校でのNHK高校講座の利用実態と数学Ⅰでの活用の取り組みの事例。平成22年度から平成29年度まで放送教育の活用について、特に直近3年間での改善や現在の放送視聴報告の状況、放送利用を含めた単位修得の流れや、その成果を紹介。	三重県立松坂高校
H29	7	中部地区通研大会	特別支援教育（教科外指導）	社会とつながる力『コミュニケーションスキル講座』―高等学校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援事業報告―	対人関係の苦手な生徒が社会につながる力をつけるために設けたコミュニケーションスキル講座について。講座の目標設定、体験活動やグループ活動、臨床心理士による特別活動の様子、その実施方法・体制・指導内容、講座実施で検証された効果について紹介。	静岡県立静岡中央高校

H30	1	中部地区通研大会	学習指導	スモールステップのレポート提出指導により単位修得率が向上した事例	地区活動や生徒会によるプチスクーリング、少年刑務所内の分室、託児室などの特色を持つ公立高校。スモールステップで提出期限を小刻みしたレポート課題を設定したことでまとめ出しや白紙レポートが減り、単位修得率が倍に上がったことを報告している。	長野県立松本筑摩高校
H30	2	中部地区通研大会	学習指導	主体的な生徒の学びを支える環境づくり～学校主導型と生徒主導型のUD化～	転編入や復学の生徒、不登校経験者、発達障害の者など多様な生徒がいるなかで学習意欲の向上と基礎学力の定着のためのUD実践。学校主導型のUD化の授業・教室環境・人的環境の改善、生徒主導型のUD化としてコミュニケーション能力の向上の講座を紹介。	岐阜県立華陽フロンティア高校
H30	3	中部地区通研大会	生徒指導	生徒の自己肯定感を高める指導～生徒会活動の活性化を通して～	学校に対する帰属意識の向上と自己肯定感の高揚、そのための自己有用感を持てる機会の設定としての生徒会活動を軸にしたアプローチを実践。生徒会主催の4つの行事と学校設定科目「ソーシャルスキル」による実践と効果を紹介。	岐阜県立飛騨高山高校
H30	4	中部地区通研大会	生徒指導	本校における生徒指導の現状と課題	生徒が変化し、長期不活発生徒が増加、転編入生の増加による進学・就職での個別対応の重要性が増加した公立高校。校内巡視などの一般生徒指導、SC活用による教育相談、LHRや外部講師による人権教育についての現状や、それに関わる現職教育を紹介。	三重県立松坂高校
H30	5	中部地区通研大会	放送教育	本校における放送教育の取り組みについて～NHK高校講座を中心として～	NHK学園（協力校）生徒も在籍する公立高校での放送教育活用事例。放送視聴の活用に関する生徒へのアンケート結果も紹介。その中で放送へは内容の興味の減少と教養志向の増加があったこと、講座難易度の感じ方の二極化が進むことを示した。	石川県立金沢泉丘高校
H30	6	中部地区通研大会	放送教育	通信制高校草創期におけるNHKとの関わり～草の根から、今、再び草の根へ～	昭和20年代からのNHKの教育放送と学校の関わりを紐解きながら、勤労青少年への教育放送を検討。現在、生徒が多様化する中で、個々の状況に合わせられる教育放送に意味があることを提示。さらにインターネット活用の必要性も指摘した。	長野県立長野西高校
H30	7	中部地区通研大会	地域教育	地域教材を活用したふるさと学習の推進	地域を題材に、理科で育成する資質能力の身に付けさせ方を紹介。スライドで、場面ごとで、気づき、課題の設定、課題の整理、見通し、比較・関係づけ、検証・分析・解釈をどうつけさせるか、他教科とどう関連させるかなどを具体的に紹介している。	富山県立雄峰高校

近畿地区通研大会 H21～H25

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H22	1	近畿地区通研大会	学校運営	本校通信制の現状と課題	所属校の年間計画について述べ、生徒・保護者・教員に対するアンケート調査をもとに学校の評価について分析している。	和歌山県立紀の川高校
H22	2	近畿地区通研大会	生徒指導	いじめ・携帯電話に関するアンケート結果に見える生徒の状況	いじめと携帯電話の使用に関する二点の項目に関して、アンケート調査により生徒の実態を明らかにしている。	京都府立西舞鶴高校
H22	3	近畿地区通研大会	放送教育	本校における放送教材等の活用について	レポートに放送教材問題を導入し、積極的な放送視聴の活用を促している。また、視聴覚教材に関する調査を生徒、教員へのアンケートにより実態を明らかにしている。	長尾谷高校
H22	4	近畿地区通研大会	進路指導	大和中央高等学校における進路指導について	所属校の進路指導における現状について明らかにし、多様な支援を必要とする生徒への進路指導に関する課題や方策について。	奈良県立大和中央高校
H22	5	近畿地区通研大会	人権教育	通信制高校における学力保障	社会の一員として生きていくために必要な諸学習の定着に向けて所属校では新しい試みを複数実施している。その成果や課題についての実践報告。	兵庫県立綱干高校
H23	1	近畿地区通研大会	学校運営	本校の学習システムと生徒・保護者相談の実際	所属校での教育内容について述べ、学校と保護者との連携に関する課題や今後の方策について。	八洲学園高校
H23	2	近畿地区通研大会	生徒指導	通信制高校の生徒会活動について	通信制高校での生徒会の役割や活動内容を挙げ、健全な生徒会を維持するための工夫や今後の課題について。	兵庫県立青雲高校
H23	3	近畿地区通研大会	放送教育	学校を身近なものに（映像Podcastの取り組み）	特別活動の映像を配信することで、学校と距離のある生徒へ呼びかけることを目的とした実践報告。	滋賀県立大津清陵高校
H23	4	近畿地区通研大会	進路指導	本校における就職指導について	所属校の年間を通した就職指導の取り組みや採用に向けて工夫した実践報告。	京都府立朱雀高校
H23	5	近畿地区通研大会	人権教育	本校における人権教育の取り組み	人権教育における教職員の取り組みと特色のある諸活動についての報告。	YMCA学院高校
H24	1	近畿地区通研大会	学校運営・学習指導（学校運営）	本校の現状と課題、教務支援システムの開発を中心として	所属校の現状を踏まえた教務支援における開発の概要と今後の方策について。	兵庫県立綱干高校
H24	2	近畿地区通研大会	生徒指導	本校における生徒指導	所属校における生徒の実態について紹介し、各校の特別活動、学校行事を中心に意見交換が実施された。	綾羽高校

H24	3	近畿地区通研大会	放送教育	単位修得における視聴覚教材の利用について	多様化する生徒に対し、視聴覚教材を活用するメリットを挙げ、放送教育への今後の課題に言及した実践報告。	天王寺学館高校
H24	4	近畿地区通研大会	進路指導	本校における進路指導	所属校が取り組んでいる年間を通しての進路指導の実践報告。	和歌山県立紀の川高校
H24	5	近畿地区通研大会	人権教育	人権教育の一環としての進路保障支援	人権教育における全般的課題を踏まえ、生徒の実態を数例挙げて進路確定の経緯や指導の詳細について報告している。	京都府立西舞鶴高校
H25	1	近畿地区通研大会	学校運営・学習指導（学校運営）	本校の校務システムの現状と課題	学校運営における特色ある取り組みを紹介し、今後の展望について分析している。	京都府立朱雀高校
H25	2	近畿地区通研大会	生徒指導	本校における生徒指導の現状と課題	所属校の生徒の実態を挙げた後、アンケート調査にて詳細を分析している。	大阪府立桃谷高校
H25	3	近畿地区通研大会	放送教育	和歌山県立陵雲高等学校における視聴票の実態について	所属校の視聴票の提出状況や放送視聴状況を報告したのち、他校へ向けたアンケート調査にて放送教育の実態について分析している。	和歌山県立凌雲高校
H25	4	近畿地区通研大会	進路指導	本校における進路支援の現状と課題	進路支援における年間計画や、進路達成のために生徒ひとりひとりに寄り添った特色ある取り組みについて述べた実践報告。	YMCA学院高校
H25	5	近畿地区通研大会	人権教育	青雲高校における人権教育の取り組み	人権教育指導の工夫ある取り組みを実際の学習指導案と資料を挙げて報告している。	兵庫県立青雲高校

近畿地区通研大会の記録 H26～H30

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H26	1	近畿地区通研大会	学校運営・学習指導	本校における学校運営の現状と課題	卒業生数が15万人を超える広域通信制高校で、登校日数に応じた5つのコースがある。現在までの生徒層変化と近年の転編入や進路の状況を紹介・課題として、進路における無業者、教務の負担、生徒指導、学び直しのカリキュラム開発を挙げている。	向陽台高校
H26	2	近畿地区通研大会	生徒指導	通信制課程における生徒指導の現状と課題	生き方や一人一人の尊重に関して4つの教育目標を掲げ、その具体目標と実施事項を紹介。さらに、生徒指導について学習機会の保証・奨励を重視する基本方針を示し、問題行動に関する指導体制を見直したことを提示している。	和歌山県立紀の川高校
H26	3	近畿地区通研大会	放送教育	放送教材を活用した効果的なスクーリング指導	放送教材の利用事例として学校設定科目「英語入門」での実践を紹介。生徒の中学レベルの理解についての認識、ネット環境利用、NHK高校講座の視聴についてアンケートを行い、その結果を踏まえて、NHKの「ベーシック英語」講座を利用して「英語入門」の改善を行っている。	兵庫県立網干高校
H26	4	近畿地区通研大会	進路指導	本校における生徒指導の取組 ～社会で求められチカラ～	学習保障を特色とし、自身のペースで続けられる学校づくりと、必要な科目を深く学ぶことを重視している。進路指導について実践を紹介、学年別の段階目標を設定、進路行事により自主性、社会人基礎力、探求心を育てるなどについて触れている。	天王寺学館高校
H26	5	近畿地区通研大会	人権教育	本校における人権教育の取り組み	県内唯一の公立通信制高校であり、かつては社会人が多かったが、現在は未成年で不登校経験などを持つ新生生が増えていく。その中で学力の充実や、生徒の人権意識を高める取り組みを重視しており、HRや講演会、映画会での内容を紹介している。	奈良県立大和中央高校
H27	1	近畿地区通研大会	学校運営・学習指導	大津清陵高校通信制教育の役割と課題	公立で高卒資格、働きながら学べる、自分のペースで学べるなどの理由で生徒が集まる高校の事例。学び続けることを教育目標の中で重視し、生徒は入学を肯定的に捉える層が多いと報告する一方、卒業後の不安の声が多いことを課題で挙げている。	滋賀県立大津清陵高校
H27	2	近畿地区通研大会	生徒指導	本校における生徒指導の成果と課題	1990年代に開学した私立広域通信制高校で、学校生活の心得、停学者数の状況とその指導の紹介。また居場所を求めて入学する生徒が多い中での登下校指導、SNSをめぐる問題行動やそれを踏まえてのインターネット社会での生徒指導についても報告。	長尾谷高校

H27	3	近畿地区通研大会	放送教育	西舞鶴高校における放送・視聴覚教育の取組について	放送教育を授業に導入した際の生徒アンケートに基づく授業での効果と授業外の活用の限界という結果と、府内教員への放送・視聴覚教育に関する自由記述アンケートの結果の紹介。関西地区での放送視聴によるスクーリング減免の状況も報告。	京都府立西舞鶴高校
H27	4	近畿地区通研大会	進路指導	本校の進路指導の取り組みについて	高卒目的以外に生涯学習目的や併修コースもある通信制高校での高卒目的コースの進路状況紹介。第一志望新入生の増加を個に応じた指導の必要性の増加の中、具体的な進路指導の取り組みとその成果としての就職と進学を進路状況を報告している。	和歌山県立きのくに青雲高校
H27	5	近畿地区通研大会	人権教育	本校の人権教育の取り組みについて	「命の尊厳」を人権教育の柱にあげる高校の事例。教員に対して必要な人権教育のテーマを調査し、「いじめ」「同和問題」「障がい者問題」などが挙げたことと、いじめをテーマにした人権学習での生徒のコメントシートについてを紹介している。	八洲学園高校
H29	1	近畿地区通研大会	学校運営・学習指導	本校における教育の現状と課題	公立の定通拠点校の現状と具体的取組、課題の事例。現状では生徒数や活動生の状況、転編入の推移、生徒の年齢層、特別な支援を有する生徒数、卒業状況などについて、具体的取組では面接指導、クラス編成の工夫、進路指導の充実、教育力向上への取組を紹介。	和歌山県立南紀高校
H29	2	近畿地区通研大会	生徒指導	本校の生徒指導の取り組みについて	公立通信制高校での在籍者と入学者の不登校経験率、生徒の年齢層、ひとり親世帯比率などを踏まえ、なぜ生徒が通信制を選択したかや、教員の声掛けや担任と教科での指導などの取組み、生徒指導の方針、いじめ対応の組織、地域連携の状況を紹介。	奈良県立大和中央高校
H29	3	近畿地区通研大会	放送教育	スクーリング参加を見据えた放送教育指導の工夫～視聴等報告の分析を通じて～	スクーリング出席の一部代替ともなる放送教育の利用について。高校卒業の意味を踏まえたスクーリングの重要性を踏まえつつ放送教育の利点・欠点を挙げ、放送視聴をスクーリング参加のきっかけにし、連動させることで反転授業を実現できることを提案している。	綾羽高校
H29	4	近畿地区通研大会	進路指導	兵庫県立清雲高等学校の進路指導の現状について	公立通信制高校の現状と進路状況について。具体的な進路内容を示しつつ、進路指導の概略や進学と就職に分けた指導の方針やスケジュールを提示し、通信制としての課題として、生徒のきめ細かい状況把握の観点や生徒の取り組みの遅れに言及している。	兵庫県立清雲高校

H29	5	近畿地区通研大会	人権教育	人権学習の取り組み	公立通信制高校での人権学習の実施形態と取組について。チェーン店での事例を通じてアルバイト労働の実態や求められる社会人基礎力、労働法を知っておくことの重要性などを指導した内容、今後の人権教育の取組の方向性、教職員研修などについて触れている。	京都府立朱雀高校
H30	1	近畿地区通研大会	学校運営・学習指導	本校通信制の現状と課題	「明るい」「温かい」「安全」を教育ビジョンとする創立40年を迎える公立高校で、複数の協力校、連携教育協定校を持つ。学校運営関連では教育課程や校務支援システム、学習進度表などをも紹介、当日議題では、非常時のことや卒業率・活動率も挙げている。	兵庫県立網干高校
H30	2	近畿地区通研大会	生徒指導	本校の生徒指導の取組について	前籍校の単位修得状況も含めて多様な生徒がいる中「安心・安全で豊かな学校生活をすべての生徒に」を目標に、校内規律維持・交通安全指導充実・自主活動の活性化をめざした生徒指導を実施。成果と課題では、行事に意欲があるが学習が進まない生徒も指摘する。	京都府立西舞鶴高校
H30	3	近畿地区通研大会	放送教育	放送教育の課題への取り組み	小規模な私立通信制の女子高。放送視聴を取り入れる中で、視聴票上の課題として感想がない、内容がまとめられないケースなどを紹介。視聴に関して「ふりかえり学習」を課すことや、視聴票の項目を改善することなどを行った対策も紹介している。	奈良女子高校
H30	4	近畿地区通研大会	進路指導	進路指導の実践と課題～桃谷高校通信制の事例～	大阪府内唯一の公立通信制課程。中卒志願倍率や編入・転入志願倍率が上昇したが、進路状況で未定が多い課題も提示。進学指導や就職指導の状況も紹介。進路部の課題としては教員数による限界や通信制ならではの進路指導の必要性を挙げ、長期計画についても言及。	大阪府立桃谷高校
H30	5	近畿地区通研大会	人権教育	不登校経験生徒への取り組み—学習の確保へ—	通信制の生徒動向の特徴として、入学・転学後に学習進捗がない生徒がいること、その背景に学校や学習の方向を向いていない、困り感を持つ両ケースのがあると提示。生徒状況に合わせて基礎学習日を置き、その成果や感想を紹介している。	和歌山県立伊都中央高校

中国地区通研大会 H21～H25

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H21	1	中国地区通研大会	学校運営	高等学校としての本校の現状と課題	生徒指導的な問題が多くある中で、全教員で共通理解を図り、指導改善した事例。	並木学院高校
H21	2	中国地区通研大会	進路指導	集団活動を取り入れた進路指導	進路未定への改善策として、就職活動ゼミとい集団を組織し、ハローワークの職員を招聘して指導を仰ぎ、先生方による就職や進学に向けた調査書等の書き方や面接指導の研修等を行った実践例。	広島県立西高校
H21	3	中国地区通研大会	学校運営	学校運営・教育課程・事務の諸課題に関する協議	通信制課程における危機管理体制のあるべき姿と多様な生徒への対応のあり方等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H21	4	中国地区通研大会	教科指導（国語）	国語科の諸課題に関する協議	添削指導のあり方と時間的制約がある中での授業計画・内容の工夫について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H21	5	中国地区通研大会	教科指導（理科）	理科の諸課題に関する協議	レポート作成における留意点と通信制における実験実習について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H21	6	中国地区通研大会	教科指導（保健体育）	保健体育の諸課題に関する協議	年間授業計画と学習内容について及び多様な生徒への対応方法と成績の認定について、各校での対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H21	7	中国地区通研大会	放送教育	放送教育の諸課題に関する協議	放送視聴や視聴覚教材の活用方法と学習効果について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H21	8	中国地区通研大会	人権教育・教育相談	人権教育・教育相談の諸課題に関する協議	教育を受ける権利を保障するための取組と教育相談の現状と課題について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H23	1	中国地区通研大会	学校運営	地域による地域のための通信制高校	地域の要望に応える形で通信制課程を設置し地域との繋がりを大切にしながら、地域出身の生徒が97%在籍している中で、単位修得率向上のための連絡の徹底、授業サポーターや保護者会の実施などを紹介。	岡山県美作高校
H23	2	中国地区通研大会	学校運営	再チャレンジの場としての通信制教育のあり方 ～自立の促す本校の教育システムが機能するとき～	多様な入学動機について、4つに分類しその分析から課題を見出し、指導に活用している。また、多様なスクーリングや教育相談、進路及び生徒指導等について紹介。	山口県立山口高校

H23	3	中国地区通研大会	学校運営・教育課程・事務（学校運営）	学校運営・教育課程・事務の諸課題に関する協議	新学習指導要領の移行に係わる教育課程の諸問題、特に転編入学、単位未修得についてと多様な生徒への対応等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H23	4	中国地区通研大会	教科指導（数学）	数学科の諸課題に関する協議	学習指導要領、多様な生徒への対応、学習支援、ICT、放送視聴について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H23	5	中国地区通研大会	教科指導（英語）	英語科の諸課題に関する協議	新学習指導要領、生徒の実情に応じた対応について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H23	6	中国地区通研大会	特別活動	特別活動の諸課題に関する協議	各校の特別活動の様子、新学習指導要領の移行への対応について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H23	7	中国地区通研大会	放送教育	放送教育の諸課題に関する協議	放送教育研究委嘱の2年目の具体的計画として、インターネット利用のアンケートの実施分析、各教科担当のNHK高校講座を取り入れた試案としての指導案、レポート作成と生徒へのモニター依頼等を紹介している。	鳥取県立米子白鳳高校
H24	1	中国地区通研大会	学校運営	本校の課題と改善策 ～レポート学習支援の取り組みについて～	単位修得率やレポート提出の低さから改善策として添削指導研修や平日スクーリングを実施した事例。	広島県立東高校
H24	2	中国地区通研大会	学校運営	学力向上推進モデル校としての取り組みより ～学ぶ意欲を高めるには～	多様な生徒が在籍する中で、まずは学ぼうとする意欲を高めることを目標に自己効力測定尺度を用いて実施し分析した研究。	鳥取県立米子白鳳高校
H24	3	中国地区通研大会	学校運営・教育課程・事務	学校運営・教育課程・事務の諸課題に関する協議	新教育課程への移行準備や教務支援システムの導入状況等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H24	4	中国地区通研大会	教科指導（地歴・公民）	地歴・公民科の諸課題に関する協議	単位修得状況や多様な生徒への対応等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H24	5	中国地区通研大会	教科指導（家庭）	家庭科の諸課題に関する協議	単位修得状況や多様な生徒への対応等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H24	6	中国地区通研大会	教科指導（情報）	情報の諸課題に関する協議	単位修得状況や多様な生徒への対応等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H24	7	中国地区通研大会	放送教育	放送教育の諸課題に関する協議	NHK高校講座の利用状況や視聴の課題等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	

H24	8	中国地区通研大会	人権教育・教育相談 (人権教育)	人権教育・教育相談の諸課題に関する協議	人権教育やスクールソーシャルワーカーの設置状況等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H25	1	中国地区通研大会	学校運営	一歩踏み出すための支援 ～通信制課程でできること～	不登校や支援が必要な生徒に対して、学校として取り組んでいる、①教科学習・授業②生徒理解・相談③中学校や外部機関との連携の実践例を報告している。	島根県立宍道高校
H25	2	中国地区通研大会	学校運営	本校の11年間の取り組みと現状	所属校の特色として様々な資格へのチャレンジと全日制への転籍が可能であることや生徒と保護者への連絡をメールを利用している等を紹介している。	聖光高校
H25	3	中国地区通研大会	学校運営	学校運営・教育課程・事務の諸課題に関する協議	定通併修の実施状況や方法、スクーリングの気象警報による対応、郵送によるレポート提出の方法等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H25	4	中国地区通研大会	教科指導(国語)	国語科の諸課題に関する協議	面接指導の工夫、単位修得率向上のための取り組み、各校独自の指導の工夫等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H25	5	中国地区通研大会	教科指導(理科)	理科の諸課題に関する協議	実験・実習の内容や指導実態、新教育課程の開講状況の取り組みや対策等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H25	6	中国地区通研大会	教科指導(保健体育)	保健体育の諸課題に関する協議	体育実技の授業展開や生徒の活動を促す指導の工夫、多様な生徒への実技指導の留意点等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H25	7	中国地区通研大会	放送教育	放送教育の諸課題に関する協議	NHK放送視聴の利用により行う実施状況や、利用促進のための取り組み、視聴票の工夫等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H25	8	中国地区通研大会	人権教育	人権教育・教育相談の諸課題に関する協議	人権教育の実施状況、特別な支援が必要な生徒に対するレポート作成や面接指導の計画をはじめとした人権教育指導の工夫等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	

中国地区通研大会の記録 H26～H30

年号	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H26	1	中国地区通研大会	学校運営	不登校の生徒のニーズに答える新しい取り組み	新入・転入生が大半を占める比較的新しい私立通信制高校。週1・2・4の登校コース、それぞれの特色、学校行事の様子、部活動の様子、進学実績などを紹介している。	並木学院福山高校
H26	2	中国地区通研大会	教科指導（体育）	本校における多様な生徒への取り組みについて ～ 体育の役割とそれに伴う変化～	個に応じた習熟度学習・カウンセリング・進路指導を重視する私立通信制高校。通年制で転入学が多いのも特色。発表者の本校での体育教員としての実践を1年目から4年目まで年を追って課題と改善方策について紹介している。	誠英高等学校
H26	3	中国地区通研大会	学校運営・教育課程・事務	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H26	4	中国地区通研大会	学習支援（特別活動・情報・保健体育）	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H26	5	中国地区通研大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H26	6	中国地区通研大会	生徒支援（進路指導・学習指導）	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H26	7	中国地区通研大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H27	1	中国地区通研大会	学校運営・教育課程	本校生徒の現状と課題 生活実態調査から	アンケート調査に基づく発表。本校に比べて協力校でのスクーリングが課題となっていること、多様な生徒がおり学習環境が変わりやすいこと、通信制の強みは自学自習で自分のペースであるが、社会に繋げる点での弱点があることなどを挙げている。	島根県立浜田高校
H27	2	中国地区通研大会	学校運営・教育課程	下関国際高校通信制の現状	2県にまたがる私立狭域通信制高校で、教育課程上は前期・後期開講、各科目では履修順を導入、語学や芸術の学校独自科目の設定を特色とする。課題としては地域の生徒減、広域通信制との競合、多様な特性を持つ生徒への対応を挙げている。	下関国際高校
H27	3	中国地区通研大会	学校運営・教育課程・事務	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H27	4	中国地区通研大会	学習支援（数学・地歴公民・国語）	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H27	5	中国地区通研大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H27	6	中国地区通研大会	生徒支援（進路指導）	(各校からの持ち回り議論による協議)		

H28	1	中国地区通研大会	教育課程・学習指導	レポート指導の改善に向けた取組	生徒アンケートをもとにレポートの体裁・問題設定・問題文や評価・返却処理、添削について課題を抽出。3か年の改善を实践。授業（スクーリング）公開と評価、添削内容・指導法の改善の取組、全体研修の实践を紹介し、課題と展望を挙げている。	岡山県立岡山操山高校
H28	2	中国地区通研大会	学校運営	成進高等学校通信制の現状と課題	全日制として誕生して通信制を併設した中で、同校の全日制から転籍が多い特徴がある私立高校。通信制課程でのシステム、生徒の様子を紹介、登校意欲を促す実践にも言及。地方創生の点での地域の高校としての意義や課題も紹介している。	成進高校
H28	3	中国地区通研大会	学校運営・教育課程・事務	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H28	4	中国地区通研大会	学習支援（英語・家庭・理科）	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H28	5	中国地区通研大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H28	6	中国地区通研大会	生徒支援（生徒指導・教育相談）	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H30	1	中国地区大会	学校運営・教育課程・事務	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H30	2	中国地区大会	学習支援（特活・情報・保体）	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H30	3	中国地区大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による協議)		

四国地区通研大会 H21～H25

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H21	1	四国地区通研大会	学校運営	制度・学校運営等の諸課題に関する協議	学校評価、インターネット活用、入学選抜と低学力生徒の対応などについて、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H21	2	四国地区通研大会	学習・生徒指導（学習指導）	学習指導の諸課題に関する協議	効果的な面接指導、添削指導のあり方、限られたスクーリング時数で、教科書をどのようにすすめているか。自学自習の意欲を高めるために、学校一丸となって取り組んでいる事例について、各校の対応などを含めた協議。	
H21	3	四国地区通研大会	学習・生徒指導（生徒指導）	生徒指導の諸課題に関する協議	携帯電話やインターネット使用に対する指導、未成年者の喫煙の指導、特別活動について、各校の対応などを含めた協議。	
H21	4	四国地区通研大会	放送教育	本校における放送教育の現状と課題	放送視聴に関するアンケートを実施し、生徒の放送視聴への理解や使用方法のあり方等、課題を把握した研究。	高知県立高知北高校
H22	1	四国通研大会	放送教育	本校における放送利用の現状と課題	放送教育の活用について、2ヵ年継続でNHK高校講座をアンケート調査し、現状と課題を明らかにし、より良い放送教育利用方法についての研究。	高知県立高知北高校
H24	1	四国地区通研大会	放送教育	本校における効果的な放送利用の促進について	生徒が放送教育を積極的に利用し、単位修得や学習活動の充実に繋げる効果的な利用方法について、アンケート調査により課題を見つけ、その対応を図っている事例。	今治精華高校
H25	1	四国地区通研大会	制度・管理運営等（学校運営）	制度・学校運営等の諸課題に関する協議	HPにおける個人情報の取り扱い、休学中の転入学の受け入れ、特科生の位置づけ等について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H25	2	四国地区通研大会	学習・生徒指導等	学習・生徒指導などの諸問題に関する協議	学習指導、報告課題の作成、添削、評価、進路指導、生徒指導について、各校の対応などを含めた協議。他に情報交換。	
H25	3	四国地区通研大会	放送教育	本校における効果的な放送利用の促進について	生徒が放送教育を積極的に利用し、単位修得や学習活動の充実に繋げる効果的な利用方法について、アンケート調査や生徒にモニターを依頼し、課題を見つけ対応を図っている研究事例。	今治精華高校

四国地区通研大会の記録 H26～H30

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H27	1	四国地区通研大会	制度・管理運営	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H27	2	四国地区通研大会	学習・生徒指導	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H28	1	四国地区通研大会	放送教育	未来高校の放送教育における取り組み	生徒の環境調査と教員の放送教育に関するアンケート調査から、放送の活用が十分でないことから活用推進のための研究を行った報告。放送番組の利用を含む年間計画や地歴公民・国語・情報・英語での実践事例について自評と生徒の反応等を紹介	学校法人河原学園 未来高校
H28	2	四国地区通研大会	学校運営・教育課程	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H29	1	四国地区通研大会	放送教育	未来高校の放送教育における取り組み	月2登校や集中スクーリングコース、平日コースなどを持つ私立通信制高校での放送教育利用の事例。生徒のTV・ラジオ・インターネットの環境利用調査、教員の放送教育へのアンケート調査を踏まえた各科目で放送教育を利用して実施した授業実践も紹介。	学校法人河原学園 未来高校
H29	2	四国地区通研大会	制度・管理運営	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H29	3	全通研全国大会	学習・生徒指導	(各校からの持ち回り議論による協議)		

九州地区通研大会の記録 H21～H25

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H21	1	九州地区通研大会	運営・教務（学校運営）	10年間のあゆみと今後の課題	10年間の実情から入学者の変遷、スクーリングと試験の実情、卒業生の変遷の3項目を調査分析することにより、今後の課題や目指すべき方向性を見出すことを目的にした研究。	鹿児島県立開陽高校
H21	2	九州地区通研大会	教科指導（国語）	通信制課程における「国語表現 - 書く力の獲得と可能性 -」について	新たな試みとして、「国表だより」の発行、フラッシュカードの使用、「自己評価」用紙の使用（授業の振り返り）、質問をメールで受付を行い、生徒の学習に与える効果を推察した実践例。	沖縄県立泊高校
H21	3	九州地区通研大会	教科指導（保健体育）	明るく豊かで活力のある保健体育をめざして	学校の運営方針と生徒の実情を把握しながら、毎年、生徒へのアンケートと保健体育に関する自己評価を行い工夫改善した授業の実践例。	長崎県立佐世保中央高校
H21	4	九州地区通研大会	進路指導	本校における進路指導	進路志望達成のための進路希望調査分析、進路講演会、進路説明会等を実践指導している取り組みを紹介。	大分県立碩信高校
H21	5	九州地区通研大会	放送教育	ピンチヒッターからレギュラーへ～自学自習を行う通信制の生徒にどう放送視聴を役立たせるか？～	レポートの中に放送視聴を取り入れた作問を設定し、放送視聴の教育的効果を追求した事例。	宮崎県立宮崎東高校
H22	1	九州地区通研大会	学校運営	通信制課程におけるネット活用型学習システムによる特色ある教育について	通学困難な離島、半島に住む生徒に向けた遠隔スクーリングの実態と現状報告。小論文指導などを通して見えてきた成果や課題について。	長崎県立鳴滝高校
H22	2	九州地区通研大会	教科指導（商業）	本校通信制課程・普通科における『商業科教育の実態と展望』について	商業科指導における単位認定の方法や課題などをまとめ、所属校における科目の位置づけについて述べている。	第一薬科大学附属高校
H22	3	九州地区通研大会	教科指導（家庭）	家庭総合におけるホームプロジェクトの指導の研究	ホームプロジェクトの実施にあたり取り組んだ実践や実態調査などをまとめた実践研究。	宮崎県立宮崎東高校
H22	4	九州地区通研大会	学校事務（学校運営）	本校通信制における事務の現状について	生徒募集や学校徴収金の業務や予算に関する運営の取り組みについてまとめている。	佐賀県立佐賀北高校

H22	5	九州地区通研大会	放送教育	いかにして高校講座を視聴して貰うか	生徒の視聴覚教材の積極的利用促進のために、生徒への意識調査をアンケートを通して分析。また、視聴に関する設備不足を今後の課題として挙げ、その方策について展開している。	熊本県立湧心館高校
H23	1	九州地区通研大会	学校運営	本校通信制課程の現状と課題 ～本校の変遷～	新設の通信制高校における現状を分析し、スクーリングや生徒指導などの各項目における今後の課題についての分析。	近畿大学附属福岡高校
H23	2	九州地区通研大会	教科指導（地歴・公民）	本校の地理指導における現状と課題	多様な事情を抱える生徒への配慮とそれに基づく社会科単位修得率向上を目的とした取り組みについて。	鹿児島実業高校
H23	3	九州地区通研大会	教科指導（理科）	本校における薬品管理	定時制昼間部、定時制夜間部、通信制の3課程が共有する理科室及び理科準備室内の薬品管理の徹底が安全な使用に至ると考えた実践報告。	長崎県立佐世保中央高校
H23	4	九州地区通研大会	人権教育	本校における進路保障の取り組みについて	人権教育における特色ある取り組みや、生徒と関わる際の留意点、基本方針について報告している。	福智高校
H23	5	九州地区通研大会	放送教育	放送視聴の積極的利用の試み ～スクーリングに来られない生徒を対象に～	放送教材の積極的な活用による単位修得率向上を目的とした実践研究。	熊本県立湧心館高校
H25	1	九州地区通研大会	学校運営	佐賀県立佐賀北高校通信制の今後のあり方の模索	通信制高校における課題と現状を踏まえ、アンケート調査を通して生徒の実態を分析し、今後の方策について述べている。	佐賀県立佐賀北高校
H25	2	九州地区通研大会	教科指導（家庭）	家庭科の通信教育における実習の取り入れ方について ～新学習指導要領に向けて～	新学習指導要領に向けて指導内容の改善や工夫ある取り組みと今後の方策を述べた実践研究。	長崎県立佐世保中央高校
H25	3	九州地区通研大会	教科指導（芸術）	本校の芸術科の現状	音楽・美術・書道の各教科の現状を述べ、それぞれの指導内容の工夫や今後の課題について。	鹿児島県立開陽高校
H25	4	九州地区通研大会	進路指導	通信制の学習形態を生かしたチャレンジスクールの取り組みと専門機関との連携による進路実現を目指して	卒業に到達するための支援について工夫した点や課題についてまとめた実践研究。	宮崎県立延岡青朋高校
H25	5	九州地区通研大会	放送教育	視聴票の作成指導と放送視聴の積極的な活用について	生徒の学習意欲向上、理解の深化を促進するための放送視聴教育における取り組みについて研究した実践報告。	大分県立爽風館高校

九州地区通研大会の記録 H26～H30

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H26	1	九州地区通研大会	運営・教務	本校の現状報告 ～私立大学付属校としての7年間の取り組み～	開学8年目の私立大学付属の広域通信制高校としての状況を生徒募集を中心に総括。開設前から現在までの募集活動、特に新しく始めるようになった募集活動とその狙いを紹介し、生徒募集は「学校を正しく理解してもらうこと」とまとめている。	近畿大学付属福岡高校
H26	2	九州地区通研大会	教科指導（体育）	生きる力育成を目指した通信制課程における体育実技の工夫 ～心拍数及びメンタルトレーニングを通して～	心拍変動に関するトレーニングを通じて自己コントロール力が育成され、生徒の主体性が増すという仮説を立て、トレーニングのほかにワークシートや、エゴグラム・考え方のクセ診断も活用して検証、教育の相乗効果の実感を得たことを報告した。	沖縄県立泊高校
H26	3	九州地区通研大会	教科指導（英語）	これならできる！ 自己肯定感を高める入門期の英語指導	新入生に英語への苦手意識と諦めを持つ生徒が多い中、学校設定科目「英語入門」で自信をつけさせ高校の英語学習につなげることを目指した取り組み。英語の音声指導や文法指導で気を付けていることや工夫を紹介し、実践の成果と課題を検討した。	長崎県立鳴滝高校
H26	4	九州地区通研大会	人権教育	生徒と向き合う人権教育を目指して	島嶼部を含み14校の協力校を持つ通信制高校。新入・転編入の状況と背景を紹介、生徒が最後の救いとして通信制に来ることを言及。その背景を踏まえた人権同和教育、チームでの支援や多様な連携を意識した教育相談・特別支援教育の実践を紹介。	鹿児島県立開陽高校
H26	5	九州地区通研大会	放送教育	宮崎東高校の放送教育の現状及び今後について	放送視聴の利用について、規定を含めた生徒への周知、放送視聴の指導の実態、アンケート調査結果を紹介・報告。放送視聴が能率的な自学自習の促進に有効である一方、活用が浸透していなかったことが課題として導出された。	宮崎県立宮崎東高校
H27	1	九州地区通研大会	運営・教務	本校の現状報告 ～新しい取り組みを通して～	入学者減と卒業生減、生徒の多様化に直面する中で、入学者増のために広報活動と入試を見直し、学習支援のために年次を、行事の活発化のための地区を組み込んだクラス編成の導入を行った高校の実践。その成果としての単位修得率と進路実績の紹介。	福岡県立博多青松高校
H27	2	九州地区通研大会	教科指導（理科）	理科における電子黒板の利活用について	県内公立の全定の課程で電子黒板が普及し、通信制でも2教室に電子黒板が導入された。その中で知識定着、思考力・問題解決能力向上を目指し、電子黒板を用いた理科実践を行い、「見える化」の工夫、実践の課題と改善などを紹介した。	佐賀県立佐賀北高校

H27	3	九州地区通研大会	生徒指導	本校における生徒指導の取り組み	全日制・通信制を併設し限られた教員数で生徒に対応、保護者と連携することの困難を感じながら、どのように生徒指導を行っているかの現状と取り組みを報告。校務分掌の仕組みと、安全・安心の視点も含めた生徒指導の実施内容を紹介している。	福智高校
H27	4	九州地区通研大会	機関広報誌	機関紙『通教みやざき』の歴史・現状・これから	戦後すぐから発刊されている学校の通信制の機関紙について歴史、変遷、現在の編集・発行体制、記事内容を紹介。機関紙に関するアンケートから、さらに多くの生徒・保護者に目を通してもらうための工夫について検討している。	宮崎県立宮崎東高校
H27	5	九州地区通研大会	放送教育	ICTを活用した放送教育の推進を目指して	ICT活用による教育の直近3か年の報告。約10年ぶりに面接室や生徒用パソコンの再整備を行ったこと、生徒のインターネット利用環境実態調査と、放送教育に関するアンケート行い、結果を紹介している。	熊本県立湧心館高校
H28	1	九州地区通研大会	運営・教務	通信制課程における教育企画部の試み	卒業までの期間が3～6年で選べる、自県以外に他2県からも出願が可能な公立高校。アクティブラーニングの推進、ICT活用の研究、Facebookやブログの活用、学校図書館の活用推進、総合的な学習の時間のスクーリング、中学生用パンフレットの作成などの取り組みについてを紹介。	大分県立爽風館高校
H28	2	九州地区通研大会	教科指導（国語）	SST（ソーシャルスキルトレーニング）の手法を取り入れた国語教育の可能性	コミュニケーション能力向上や社会性の育成を目指して国語科でSSTを取り入れた事例。学校設定科目「国語入門」のでSST指導の実際、challengeスクールやLHRでのSST導入の実際、それらでの成果と課題を紹介している。	宮崎県立延岡青朋高校
H28	3	九州地区通研大会	教科指導（情報）	生徒の能力に応じた実習課題の設定	「社会と情報」において生徒の能力差を考慮したスクーリングでの実習を研究した3年間の実践。実習の効率化の工夫として、基礎課題と応用課題を設け、各年度でアンケートを実施し、課題を変更して行ったことを紹介している。	鹿児島実業高校
H28	4	九州地区通研大会	教科指導（数学）	本校における数学科の取り組みについて～レポートおよび面接授業における教材の精選について～	単位制だが学年制を取り入れた公立高校。生徒の変化や教育課程の状況を踏まえた過去6年間の数学科のカリキュラム、現状のレポート・面接授業・定期考査の仕組み、生徒の学力実態を紹介、実態を踏まえたレポートや面接授業の工夫を紹介している。	長崎県立佐世保中央高校
H28	5	九州地区通研大会	放送教育	E-learnigを利用した学習支援の研究 ～協力校に対するコミュニケーションツールの模索と実現～	本校と3つの島の4か所でスクーリングを実施。離島の状況で生徒の特別活動への参加が難しいなどの課題がある。そこで、ウェブテレビ会議やライブ配信を用いたE-learnigによりコミュニケーションを図るための実践を行い、内容について紹介。	沖縄県立泊高校

H29	1	九州地区通研大会	運営・教務	本校の活性化に向けた取り組みー現在の取り組みと今後の課題ー	多様な生徒を受け入れる私立単位制・通信制課程普通科の独立校（小規模校）において、生徒増につながった理由をクラス編成、授業、進路指導、学校説明会、行事、地域連携などの取り組みの分析から探った。	学校法人府内学園 府内高校
H29	2	九州地区通研大会	情報	【社会と情報】におけるパソコン実習の内容検証する	面接指導を協力校で現地校教師が行う県立高校での実践の検討・紹介。内容は教科情報のうち「社会と情報」の科目で、理論的な内容（レポート学習）をもとに体験的に触れる面接指導（パソコン実習）をどう行ってきたかとその成果。	長崎県立鳴滝高校
H29	3	九州地区通研大会	総合学習	「総合的な学習の時間」の現状分析と本校の取り組み	私立通信制高校での「総合的な学習の時間」に関して、学習指導要領での提示のされ方（含：通信制課程における教育課程の特例）、本校での取り組み・現状分析結果、アクティブ・ラーニングの観点や生徒の主体的学びの観点からの実践例を紹介。	第一薬科大学附属高校
H29	4	九州地区通研大会	人権教育	「人権教育における平和学習の実践について」ーひめゆり学徒の足跡をたどる平和学習フィールドワーカー	人とかかわりの苦手な生徒も多い通信制で、「総合学習」の一環での人権教育・平和教育を通じた生徒の内面の探求や他者への考察を深めて生きる力をつける教育実践を実施。フィールドワークまでの実際、実践とその後の生徒の反応を紹介した。	沖縄県立宜野湾高校
H29	5	九州地区通研大会	放送教育	「一人ひとりを大切に学習支援をめざして」	在籍生徒の特徴と3年間での学籍状況を基にした通信制高校の生徒層の検討と、生徒への教育実践としてのTV会議システムによるスクーリング、HPを利用した学習支援、スクーリングでのNHK高校講座の利用の実施についての紹介。	鹿児島県立開陽高校
H30	1	九州地区通研大会	運営・教務	書字障害の生徒に対する合理的配慮について	入試における合理的配慮の要望を契機に、書字障害の生徒への配慮について検討した事例。書字障害の具体的内容、要望を受けての対応、中学校からの引継ぎの仕方、教職員への周知、生徒側のと学校のやり取りなどを報告している。	宮崎県立宮崎東高校
H30	2	九州地区通研大会	教科指導（地歴・公民）	地理歴史・公民科における『主体的・対話的で深い学び』への取り組み	通信制での生徒の実態を踏まえて「主体的・対話的で深い学び」を引き出すための指導のあり方を探求した事例。九州地区通研での地歴公民科指導のアンケート結果と本校での取り組みとしての面接指導やレポートで作文を導入した実践の検証などを紹介している。	熊本県立湧心館高等学校
H30	3	九州地区通研大会	教科指導（理科）	理科におけるICTの利活用について	理科に対する興味・関心・理解を高める面接指導に向けて視聴覚教材の利用、電子黒板をなどのICT機器の活用で見えてきた生徒の理科教育に対する状況を報告、今後の理科教育の課題について考察。結果、面接指導での集中力や理解力の向上が見られたと報告。	福智高等学校

H30	4	九州地区通研大会	人権教育	本校における人権教育の取組み～一人ひとりの生徒を大切に～	自校での人権教育の重点課題、年間計画、人権教育に関する生徒アンケートの結果を紹介。結果として、生徒の人権意識が学年につれ高まることや、多様な生徒が在籍、集団を形成している結果、生徒達により影響（人権意識に）を与えていることを報告している。	福岡県立博多青松高等学校
H30	5	九州地区通研大会	放送教育	NHK高校講座「総合的な探究の時間」と学習アプリ「Clica」を利用した総合的な学習の時間のスクリーニングモデルケースの開発について	「主体的・対話的で深い学び」を「確かな学力」のための授業改善の柱となる中で、レポートが主体的である反面、対話的は難しい。本事例では、NHK高校講座と無料の学習アプリ「Clica」を使い、主体的・対話的で深い学びのできる面接授業の在り方を検討した。	宮崎県立延岡青朋高等学校